

令和6年

中部地方一級河川の水質

令和7年7月

中 部 地 方 整 備 局

目 次

中部地方の水質現況

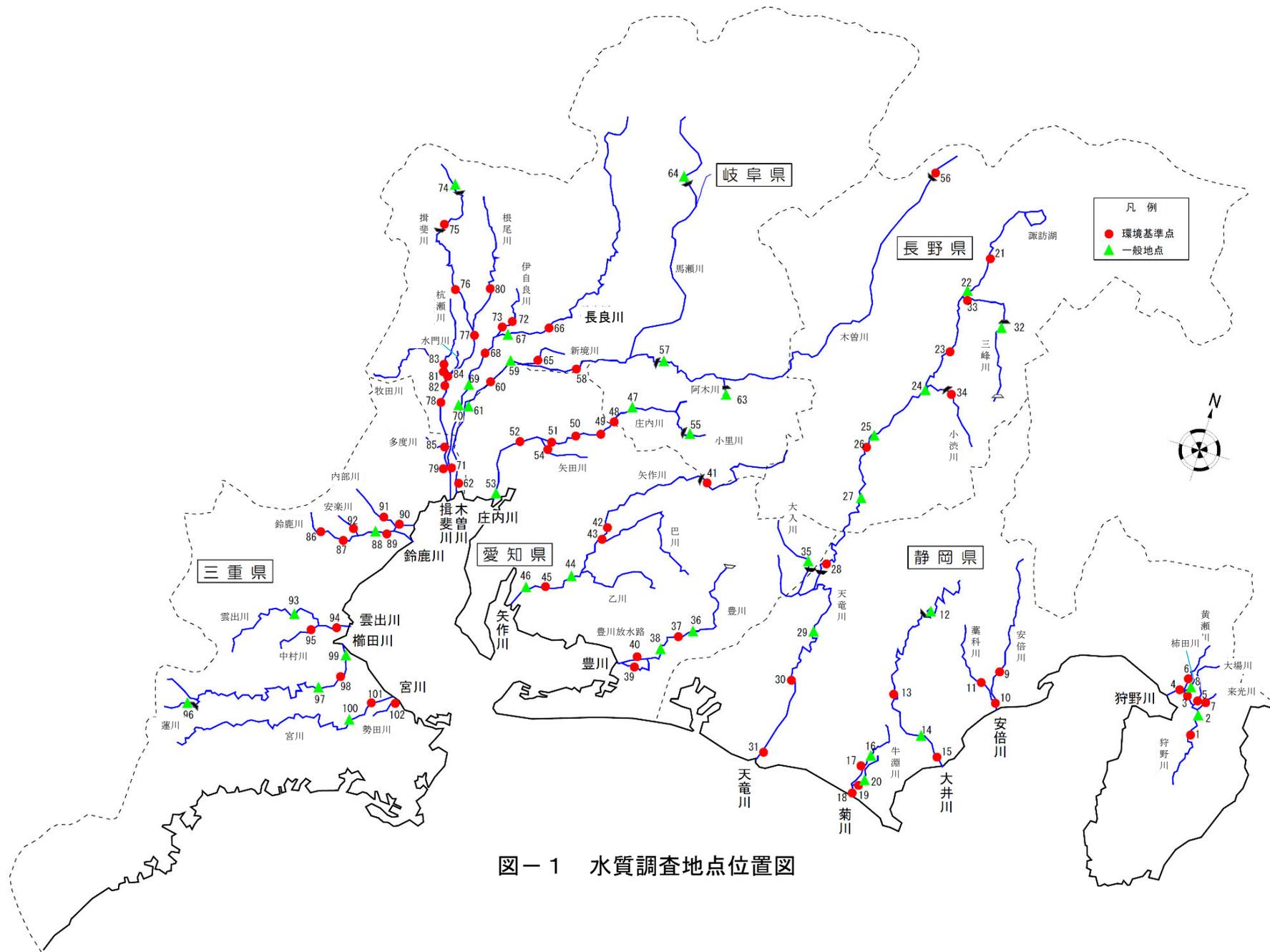
1. 令和6年 河川の水質	1
(1) 水質調査地点	1
(2) 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況	7
1) 環境基準項目	7
2) 中部地方整備局管内の水質概況	8
3) 調査地点の水質状況	10
4) 各水系の主要地点の水質状況	11
(3) 人の健康の保護に関する環境基準の項目からみた水質の現況	21
(4) 要監視項目からみた水質の現況	21
(5) 川の生きものを調べよう—水生生物による水質判定—	21
1) 水質判定方法	21
2) 調査状況・結果	23
2. ダイオキシン類からみた水質状況	28
(1) 調査目的	28
(2) 調査内容	28
1) 調査対象物質	28
2) 調査地点	28
3) 調査方法	31
4) 調査時期	31
5) 調査結果	32
3. 水質事故の発生状況	34
(1) 水質事故の確認件数	34
(2) 水質事故の発生要因	35
1) 種類別の水質事故件数	35
2) 原因別の水質事故件数	36
巻末資料	37
・各種基準値（指針値）一覧	
・令和6年 中部の水質（BOD75%値）位置図	
・令和6年 中部の水質（BOD75%値）一覧表	

1. 令和6年 河川の水質

(1) 水質調査地点

中部地方整備局では、令和6年に13水系（41河川）の102地点（河川類型未指定3地点、湖沼類型4地点を含む）で水質調査を実施した。

水質調査地点位置図を図-1、水質調査地点一覧表を表-1に示す。



図一 1 水質調査地点位置図

表－1 水質調査地点一覧表

水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	区分		感潮の有無	位置	距離標(km)	調査開始年月	担当事務所
					基準	一般					
狩野川	カノカ川	1	オオト仁橋	AA	○		－	静岡県伊豆の国市大仁	25.6	S37.6	沼津河川道
	カノカ川	2	チキト歳橋	AA		○	－	静岡県伊豆の国市古奈	18.8	S47.9	〃
	カノカ川	3	ト徳クラ倉橋	AA	○		－	静岡県駿東郡清水町徳倉	7.8	S46.4	〃
	カノカ川	4	クロ黒瀬橋	AA	○		やや有	静岡県沼津市黒瀬	3.4	S37.6	〃
	ダイバ大場川	5	ツカ塚本橋	A	○		－	静岡県田方郡函南町塚本	合流点から0.4	S53.4	〃
	キセキ瀬川	6	キセキ瀬川橋	A	○		－	静岡県駿東郡清水町長沢	合流点から0.8	S53.4	〃
	ライコウ来光川	7	シラ蛇ガケ橋	AA	○		－	静岡県田方郡函南町肥田	合流点から0.4	H1.4	〃
	カキ柿田川	8	カキ柿田橋	－		○	－	静岡県駿東郡清水町堂庭	合流点から0.2	H1.4	〃
計			8		6	2					
安倍川	アベカ川	9	アサボノ曙橋	AA	○		－	静岡県静岡市葵区牛妻	17.1	S37.6	静岡河川
	アベカ川	10	アベカ川橋	AA	○		－	静岡県静岡市駿河区手越	4.0	S42.7	〃
	ワサコ葦科川	11	ワサコガケ谷橋	AA	○		－	静岡県静岡市葵区羽島	合流点から1.3	S39.4	〃
	計			3		3					
大井川	オオイカ川	12	ナガシマ長島ダム貯水池(基準点)	AA		○	－	静岡県榛原郡川根本町犬間	河口から84.4	H12.11	長島ダム
	オオイカ川	13	カン神座橋	AA	○		－	静岡県島田市神座	23.5	S37.6	静岡河川
	オオイカ川	14	ヤ谷グチ口橋	A		○	－	静岡県島田市細島	10.2	S44.4	〃
	オオイカ川	15	フ富士見橋	A	○		－	静岡県榛原郡吉田町大幡	4.2	S37.7	〃
	計			4		2	2				
菊川	キクカ川	16	カ加モ茂橋	A		○	－	静岡県菊川市加茂	12.0	S37.6	浜松河川道
	キクカ川	17	カ加高田橋	A	○		－	静岡県菊川市上平川	9.1	S47.5	〃
	キクカ川	18	クニ国ヤス安橋	A	○		有	静岡県掛川市国安	2.1	S45.1	〃
	クニ牛淵川	19	カ鹿シマ島橋	B	○		－	静岡県掛川市国包	合流点から0.6	H2.4	〃
	クニ牛淵川	20	ドウ堂ヤマ山橋	B		○	－	静岡県菊川市堂山新田	合流点から3.8	S47.5	〃
	計			5		3	2				
天竜川	テンリュウ天竜川	21	シン新トイ樋橋	B	○		－	長野県上伊那郡辰野町伊那富	210.6	S37.7	天竜川上流河
	テンリュウ天竜川	22	チュウ中オウ央橋	B		○	－	長野県伊那市伊那部	193.4	S44.4	〃
	テンリュウ天竜川	23	キ吉瀬ダム	A	○		－	長野県駒ヶ根市吉瀬	176.8	S44.4	〃
	テンリュウ天竜川	24	ミヤ宮ガケ瀬橋	A		○	－	長野県下伊那郡松川町生田	160.7	S37.7	〃

水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	区分		感潮の有無	位置	距離標(km)	調査開始年月	担当事務所
					基準	一般					
天竜川	天竜川	25	天竜橋	A		○	—	長野県飯田市時又	142.0	S46.4	天竜川上流河
	天竜川	26	つつじ橋	A	○		—	長野県飯田市川路	138.5	S46.4	〃
	天竜川	27	南宮橋	A		○	—	長野県下伊那郡阿南町北條	123.7	S46.4	〃
	天竜川	28	佐久間ダム	湖AIV		○	—	静岡県浜松市天竜区佐久間町	71.0	H16.4	浜松河川道
	天竜川	29	秋葉ダム	AA		○	—	静岡県浜松市天竜区龍山戸倉	47.0	S47.5	〃
	天竜川	30	鹿島橋	AA		○	—	静岡県浜松市天竜区二俣町鹿島	24.9	S37.6	〃
	天竜川	31	か掛塚橋	AA		○	やや有	静岡県磐田市掛塚	3.3	S37.6	〃
	三峰川	32	美和ダム貯水池	A		○	—	長野県伊那市長谷非持	合流点から13.4	S49.4	天竜川合
	三峰川	33	竜竜橋	A		○	—	長野県伊那市東春近	合流点から1.4	H6.4	天竜川上流河
	小波川	34	小波ダム貯水池	AA		○	—	長野県下伊那郡松川町生田	合流点から5.4	S49.1	天竜川合
	大入川	35	新豊根ダム貯水池	—		○	—	愛知県北設楽郡豊根村古真立	ダム本体から上流0.3	S48.7	浜松河川道
	計			15		8	7				
豊川	豊川	36	石田	A		○	—	愛知県新城市石田	27.6	S36.9	豊橋河川
	豊川	37	江島橋	A		○	—	愛知県豊川市一宮町江島	22.2	S47.4	〃
	豊川	38	当古橋	A		○	—	愛知県豊川市当古町本郷	13.4	S42.1	〃
	豊川	39	吉田大橋	A		○	有	愛知県豊橋市今橋町	6.1	S47.4	〃
	豊川放水路	40	小坂井大橋	B		○	有	愛知県豊川市小坂井町小坂井	3.6	S47.4	〃
	計			5		3	2				
矢作川	矢作川	41	矢作ダム貯水池	AA		○	—	愛知県豊田市閑羅瀬町	80.2	S46.4	矢作ダム
	矢作川	42	明治用水頭首工	A		○	—	愛知県豊田市水源	34.6	S47.4	豊橋河川
	矢作川	43	岩津天神橋	A		○	—	愛知県岡崎市西蔵前町	29.2	S37.10	〃
	矢作川	44	キ木戸	A		○	—	愛知県安城市木戸町	13.6	S48.4	〃
	矢作川	45	米津大橋	A		○	—	愛知県西尾市米津	9.9	S43.1	〃
	矢作川	46	ナカ中畑橋	A		○	有	愛知県碧南市伏見屋	5.1	S37.11	〃
計			6		4	2					
庄内川	庄内川	47	多治見橋	B		○	—	岐阜県多治見市本町	49.3	S44.5	庄内川
	庄内川	48	天ヶ橋	B		○	—	岐阜県多治見市市之倉町	44.4	S50.4	〃
	庄内川	49	山城嶺橋	A		○	—	愛知県瀬戸市定光寺町	40.1	S50.4	〃
	庄内川	50	大留橋	C		○	—	愛知県春日井市大留町	33.8	S44.5	〃
	庄内川	51	水分け橋	C		○	—	愛知県名古屋守山区瀬古川西	21.9	S44.5	〃

水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	区分		感潮の有無	位置	距離標(km)	調査開始年月	担当事務所
					基準	一般					
庄内川	ショウナイカ川	51	枇杷島橋	C	○		—	愛知県清須市西枇杷島町南間屋	14.4	S44.5	庄内川河
	ショウナイカ川	53	庄内新川橋	C		○	有	愛知県名古屋市区宝神町	0.9	S46.4	〃
	ヤダカ川	54	天神橋	C	○		—	愛知県名古屋市守山区守山川田	合流点から5.1	S44.5	〃
	オソリカ川	55	小里川ダム貯水池基準点	B		○	—	岐阜県恵那市山岡町田代	合流点から8.3	H14.12	〃
	計			9		6	3				
木曾川(木曾川)	キソカ川	56	味噌川ダム	湖AⅡ	○		—	長野県木曾郡木祖村		H9.4	水機源構
	キソカ川	57	丸山ダム貯水池	A		○	—	岐阜県加茂郡八百津	ダム本体から上流0.8	S46.4	木曾川合
	キソカ川	58	イヌヤマ山橋	A	○		—	愛知県犬山市内田	57.9	S34.8	木曾川上流川
	キソカ川	59	木曾川橋	A		○	—	岐阜県羽島郡笠松町柳原町	40.0	S42.5	〃
	キソカ川	60	濃尾大橋	A	○		—	愛知県一宮市起	34.0	S34.8	〃
	キソカ川	61	トウモロコシ大橋	A		○	有	愛知県愛西市給父町北部	22.6	S50.4	木曾川下流川
	キソカ川	62	ヨコ横溝蔵	A	○		有	三重県桑名市長島町横溝蔵	3.2	S46.4	〃
	アキカ川	63	阿木川ダム	A		○	—	岐阜県恵那市東野	合流点から8.3	H7.4	水機源構
	マセカ川	64	イワヤ屋ダム	AA		○	—	岐阜県下呂市金山町卯野原	合流点から55.3	H6.4	〃
	シンカイカ川	65	コメ米野	C	○		—	岐阜県羽島郡笠松町米野	合流点から0.5	S44.4	木曾川上流川
計			10		5	5					
木曾川(長良川)	ナガラカ川	66	アイカ川橋	A	○		—	岐阜県岐阜市加野	59.4	S33.4	木曾川上流川
	ナガラカ川	67	カガ鏡島大橋	A		○	—	岐阜県岐阜市鏡島菖蒲池	47.6	S42.11	〃
	ナガラカ川	68	ナガラ長良大橋	A	○		—	岐阜県大垣市墨俣町墨俣	39.2	S35.7	〃
	ナガラカ川	69	ナン濃大橋	A		○	—	岐阜県羽島市桑原町大須	28.2	S33.4	木曾川下流川
	ナガラカ川	70	トウモロコシ大橋	A		○	—	岐阜県海津市海津町秋江	22.6	S49.4	〃
	ナガラカ川	71	イイ勢大橋	A	○		—	三重県桑名市長島町十日外面	5.8	S33.4	〃
	イジラカ川	72	イジラ練船橋	A	○		—	岐阜県岐阜市折立	合流点から5.7	S48.4	木曾川上流川
	イジラカ川	73	イジラ竹橋	C	○		—	岐阜県岐阜市一日市場	合流点から0.9	S44.4	〃
計			8		5	3					
木曾川(揖斐川)	イビカ川	74	トク徳山ダム	湖AⅡ		○	—	岐阜県揖斐郡揖斐川町		H20.5	水機源構
	イビカ川	75	ヨコ横山ダム	湖AⅢ	○		—	岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山	78.7	S48.4	木曾川合
	イビカ川	76	オカ岡島橋	AA	○		—	岐阜県揖斐郡揖斐川町下岡島	56.7	S35.8	木曾川上流川
	イビカ川	77	サキ鷺田橋	AA	○		—	岐阜県瑞穂市呂久	44.7	S35.7	〃
	イビカ川	78	フク福岡大橋	A	○		有	岐阜県海津市海津町福岡	23.4	S48.4	木曾川下流川
	イビカ川	79	イイ勢大橋	A	○		有	三重県桑名市長島	5.8	S33.4	〃
	ネオカ川	80	ヤマ山ダチ口	AA	○		—	岐阜県本巣市山口	合流点から12.0	S42.11	木曾川上流川

水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	区分		感潮の有無	位置	距離標(km)	調査開始年月	担務所
					基準	一般					
木曾川 (揖斐川)	マキタカ川	81	横曽根橋	A	○		—	岐阜県養老郡養老町船付	合流点から5.2	S44.4	木曾川上流川
	マキタカ川	82	伊池辺	C	○		やや有	岐阜県養老郡養老町梓池	合流点から0.3	S45.4	〃
	イトセ川	83	高瀬橋	A	○		—	岐阜県大垣市高瀬町	合流点から2.1	S39.4	〃
	スイモン川	84	ニスイ水橋	C	○		—	岐阜県大垣市横曽根	合流点から3.0	S37.4	〃
	タド度川	85	お上之郷	A	○		有	三重県桑名市多度町上之郷	合流点から0.7	S48.4	木曾川下流川
	計			12		11	1				
鈴鹿川	スズカ川	86	カシノ進橋	AA	○		—	三重県亀山市関町木崎	27.3	S49.4	三重河川道
	スズカ川	87	レイ鈴国橋	AA	○		—	三重県鈴鹿市国府町	18.0	S49.4	〃
	スズカ川	88	シウ庄野橋	A		○	—	三重県鈴鹿市庄野町	13.0	S43.4	〃
	スズカ川	89	カ高岡橋	A	○		—	三重県鈴鹿市一ノ宮町	6.5	S37.5	〃
	スズカ川	90	オ小倉橋	A	○		有	三重県四日市市川合町	2.4	S46.6	〃
	ウツベ川	91	カ河原田橋	A	○		—	三重県四日市市河原田町	合流点から2.0	S46.6	〃
	アン楽川	92	イ和泉橋	AA	○		—	三重県鈴鹿市和泉町	合流点から0.5	H10.4	〃
	計			7		6	1				
雲出川	クモ出川	93	オオ大仰橋	A		○	—	三重県津市一志町大仰	17.6	S37.5	三重河川道
	クモ出川	94	クモ雲出橋	A	○		—	三重県松阪市小野江町	3.9	S44.5	〃
	ナカ中村川	95	オ小川橋	AA	○		—	三重県松阪市嬉野宮古町	合流点から1.2	H7.4	〃
	計			3		2	1				
榎田川	ハチス運川	96	ハチス運貯水ダム	—		○	—	三重県松阪市飯高町森	ダム本体から上流0.3	H1.4	運ダム
	クシダ川	97	ユウ両郡橋	A		○	—	三重県多気郡多気町相可	14.3	S37.5	三重河川道
	クシダ川	98	クシダ田橋	A	○		—	三重県松阪市豊原町	7.9	S44.6	〃
	クシダ川	99	マツサカセ松阪東大橋	A		○	—	三重県松阪市西黒部町	2.5	H27.4	〃
	計			4		1	2				
宮川	ミヤ川	100	イ岩出	AA		○	—	三重県度会郡玉城町岩出	11.6	S50.4	三重河川道
	ミヤ川	101	ワタ度ライ会橋	AA	○		—	三重県伊勢市中島町	7.0	S50.4	〃
	セタ田川	102	セタ田大橋	C	○		有	三重県伊勢市田尻町前新田	2.1	S51.4	〃
	計			3		2	1				

(2) 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況

1) 環境基準項目

生活環境の保全に関する環境基準の項目について、河川の場合は水質汚濁の代表指標である BOD^{※1} (生物化学的酸素要求量) の 75% 値^{※2}、湖沼の場合は水質汚濁の代表指標である COD^{※3} (化学的酸素要求量) の 75% 値によって整理した。

なお、河川とは湖沼を除く地点であり、湖沼とは天然湖沼及び貯水量が 1,000 万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が 4 日間以上である人工湖を示す。ただし、人工湖であっても水域類型が河川として指定されている場合には河川とした。

※1…BOD (Biochemical Oxygen Demand) とは溶存酸素存在のもとで水中の有機物を栄養源として好気性微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量で、20℃、5 日間で消費される溶存酸素量 (mg/L) を標準とする。一般的に水質汚濁を示す代表的な指標で、水質関係の各種法令で規制項目として採用されている。

※2…BOD 及び COD における環境基準の達成状況は、公共用水域が通常の状態 (河川にあっては低水流量以上の流量) にあるときの測定値によって判断することとなっている。しかし、低水流量の水質の把握が非常に困難であるため、BOD 及び COD については測定された年度のデータのうち、75% 以上のデータが基準値を達成することをもって評価することとしたものである。例えば、月 1 回の測定の場合、日平均値を水質の良いものから 12 個並べたとき、水質の良い方から 9 番目が 75% 値となる。この値が基準値に適合することをもって、当該測定地点において環境基準を達成しているとみなすこととされている。

※3…COD (Chemical Oxygen Demand) とは、水中の有機物等を過マンガン酸カリウム (KMnO₄) で化学的に酸化するときに、消費される酸化剤の量を、対応する酸素量であらわしたものである。BOD と同様、水質汚濁を示す代表的指標である。

2) 中部地方整備局管内の水質概況

令和6年における中部地方整備局管内での類型指定区間内の調査地点数は99地点（河川95地点、湖沼4地点〔横山ダム、佐久間ダム、味噌川ダム、徳山ダム〕）となっている。

これらの調査地点における環境基準^{※4}の満足状況は、BOD75%値が97%（表-2）、COD75%値が100%（表-3）であり、全国と比べても高い割合であった。

表-2 河川類型別環境基準の満足状況^{※5}（BOD75%値による）

類 型	令和5年			令和6年		
	調査地点数	満足地点数	満足している割合	調査地点数	満足地点数	満足している割合
AA	25	24	96%	25	23	92%
A	52	51	98%	52	51	98%
B	8	8	100%	8	8	100%
C	10	10	100%	10	10	100%
D	0	—	—	0	—	—
E	0	—	—	0	—	—
合計	95	93	98%	95	92	97%

表-3 湖沼類型別環境基準の満足状況^{※5}（COD75%値による）

類 型	令和5年			令和6年		
	調査地点数	満足地点数	満足している割合	調査地点数	満足地点数	満足している割合
A	4	4	100%	4	4	100%
合計	4	4	100%	4	4	100%

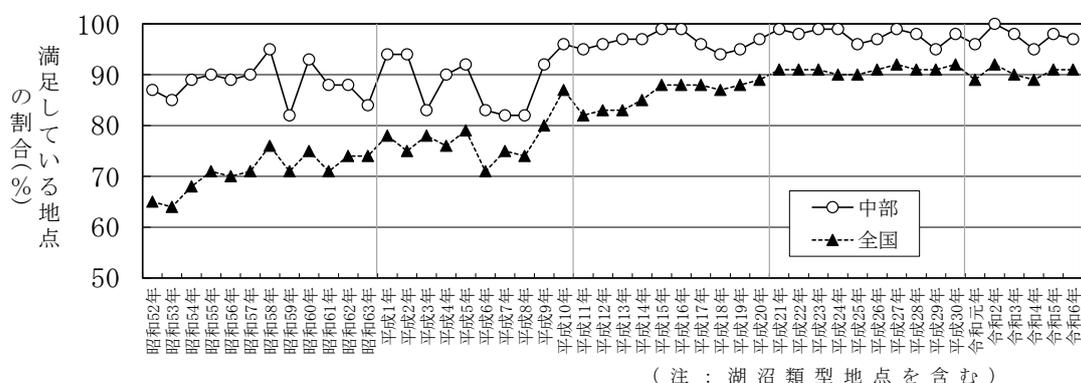


図-2 一級河川における環境基準を満足している地点割合の経年変化

表－４ 河川別環境基準の満足状況※⁵（BOD75%値またはCOD75%値による）

河川名	令和5年			令和6年		
	調査地点数	満足している地点の割合	不満足地点 (地点番号)	調査地点数	満足している地点の割合	不満足地点 (地点番号)
狩野川	7	100%		7	100%	
安倍川	3	100%		3	100%	
大井川	4	75%	谷口橋 (14)	4	75%	谷口橋 (14)
菊川	5	100%		5	100%	
天竜川	14	100%		14	93%	小渋ダム (34)
豊川	5	100%		5	100%	
矢作川	6	83%	矢作ダム (41)	6	83%	矢作ダム (41)
庄内川	9	100%		9	100%	
木曾川	10	100%		10	100%	
長良川	8	100%		8	100%	
揖斐川	12	100%		12	100%	
鈴鹿川	7	100%		7	100%	
雲出川	3	100%		3	100%	
櫛田川	3	100%		3	100%	
宮川	3	100%		3	100%	
合計	99	98%		99	97%	

※4…環境基準

＜河川における類型別環境基準＞

- AA類型：BOD 1mg/L以下
- A類型：BOD 2mg/L以下
- B類型：BOD 3mg/L以下
- C類型：BOD 5mg/L以下
- D類型：BOD 8mg/L以下
- E類型：BOD 10mg/L以下

＜湖沼における類型別環境基準＞

- AA類型：COD 1mg/L以下
- A類型：COD 3mg/L以下
- B類型：COD 5mg/L以下
- C類型：COD 8mg/L以下

※5…満足状況：本報告は、中部地方整備局が河川管理者の立場から水質調査結果を取りまとめたものである。水質汚濁防止法に基づき年度毎に公共用水域の水質の汚濁状況を環境基準との比較で評価する場合の「達成」とする表現と区別するため、同様の意味であるが、本報告では「満足」とする表現を用いている。また、貯水池は、河川類型指定及び未指定はBOD表層値、湖沼類型指定で複数層を測定している場合はCOD全層平均値で満足状況を評価した。

3) 調査地点の水質状況

河川類型指定区域内の95調査地点について、BOD75%値の経年割合を図-3に示す。

令和6年は、全調査地点の97%で、アユなどが生息できる良好な水質（BOD75%値が3mg/L以下）^{※6}となっている。過去10年間の3mg/L以下の割合は9割以上で推移しており、良好な状態である。

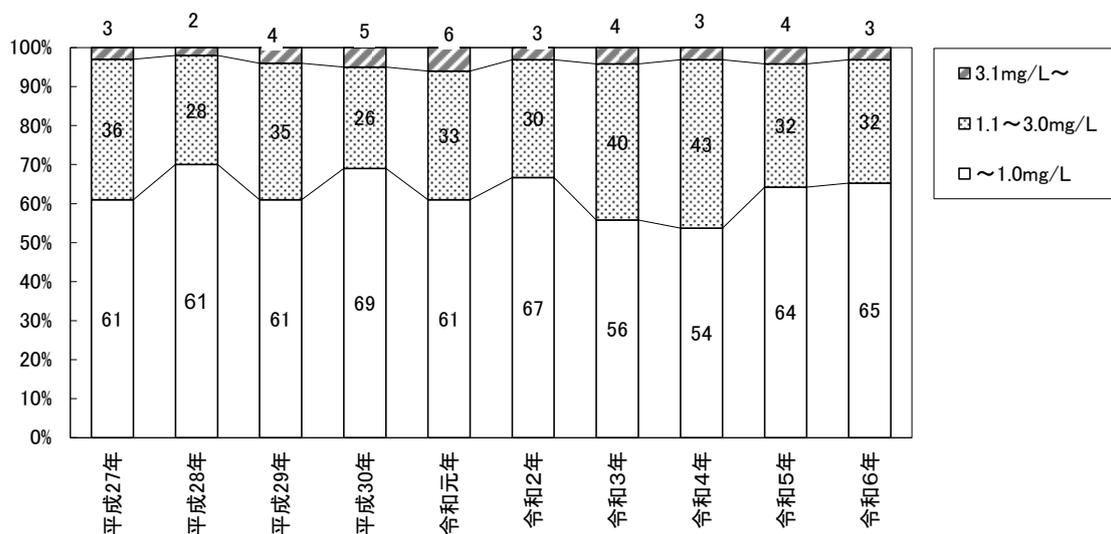


図-3 BOD75%値の経年割合

※6…ここでの「良好な水質」とは、類型指定やその達成状況にかかわらず、BOD75%値が、アユなどが生息できる範囲（3.0mg/L以下）にあることを指している。アユなどが生息できる範囲（3.0mg/L以下）は、水産2級で「サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用」の基準値のひとつがBOD 3mg/L以下とされていることからここでの評価に用いている。

4) 各水系の主要地点の水質状況

各水系の主要地点における生活環境の保全に関する環境基準の主な調査項目の年平均値を表－5に示す。

表－5 令和6年 主要地点の水質状況（年平均値）

河川名	調査地点名	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)
狩野川	黒瀬橋	7.7	9.2	0.5 (0.5)	2.2	4
安倍川	安倍川橋	8.0	9.6	0.5 (<0.5)	0.6	52
大井川	富士見橋	7.7	9.8	0.7 (0.8)	-	30
菊川	国安橋	7.7	9.1	1.0 (1.1)	-	11
天竜川	新樋橋	8.0	10.1	1.7 (1.9)	2.6	7
	天竜橋	7.9	10.4	1.0 (1.1)	2.3	64
	鹿島橋	7.7	10.5	0.6 (0.7)	2.3	23
豊川	当古橋	7.3	10.0	0.5 (0.5)	1.7	2
矢作川	米津大橋	7.2	9.8	0.8 (1.0)	2.1	6
庄内川	枇杷島橋	7.2	9.0	2.6 (3.2)	7.0	6
木曾川	犬山橋	7.3	10.3	0.9 (0.9)	2.3	2
	濃尾大橋	7.3	10.2	0.8 (0.9)	2.2	2
長良川	藍川橋	7.5	10.1	0.6 (0.6)	1.3	1
	長良大橋	7.4	9.9	0.6 (0.7)	1.6	2
揖斐川	鷺田橋	7.6	10.5	0.6 (0.7)	1.3	2
	福岡大橋	7.6	9.2	0.7 (0.8)	1.7	5
鈴鹿川	高岡橋	7.7	10.0	0.6 (0.5)	2.5	5
雲出川	雲出橋	7.6	9.9	0.8 (0.7)	3.4	5
櫛田川	櫛田橋	7.7	9.7	0.5 (<0.5)	1.8	1
宮川	度会橋	7.3	9.5	0.6 (<0.5)	0.9	1

※7…BODの（ ）書は75%値を示す。

1. 狩野川

黒瀬橋くろせばし（AA類型）のBOD経年変化（図-4（1））をみると、昭和47年から昭和51年の間で改善され、平成11年以降は2mg/L以下となり、平成16年以降は1mg/L以下で推移している。

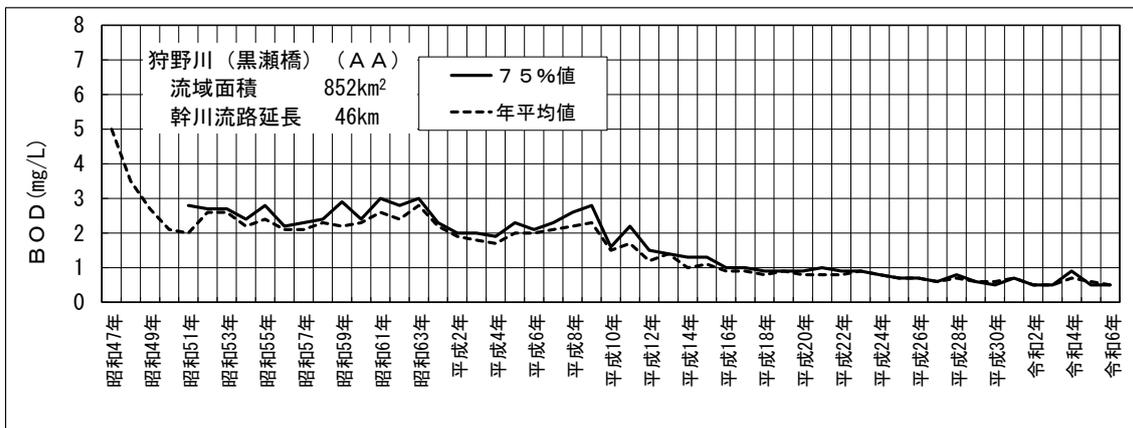


図-4（1） 狩野川 黒瀬橋地点のBOD経年変化

2. 安倍川

安倍川橋あべかわばし（AA類型）のBOD経年変化（図-4（2））をみると、昭和53年からはほぼ横ばいで1mg/L前後を維持していたが昭和63年、平成6年、平成7年にやや悪化した。その後、平成12年以降は1mg/L以下で推移している。

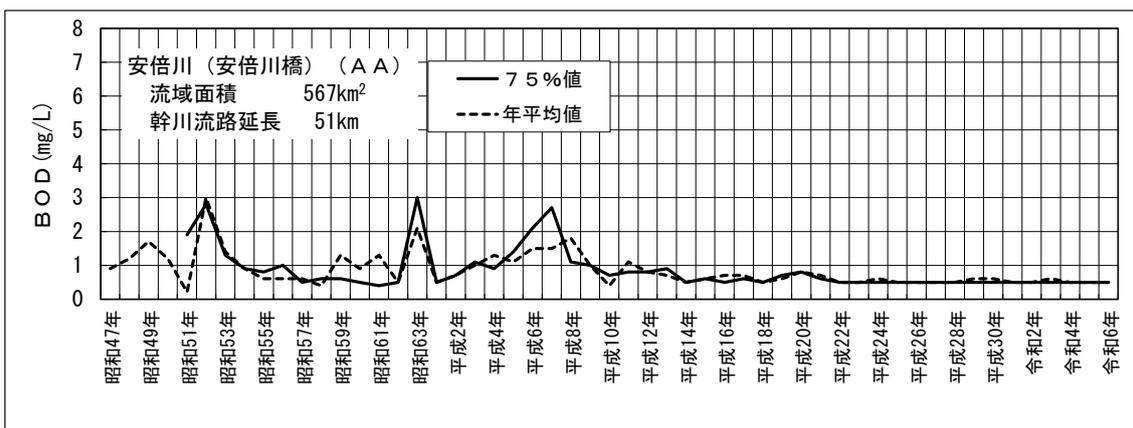


図-4（2） 安倍川 安倍川橋地点のBOD経年変化

3. 大井川

富士見橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（3））をみると、昭和47年以降徐々に改善され、昭和60年からは1mg/L前後を保っていたが、平成8年頃に一時悪化した。その後、平成14年以降は1mg/L前後で推移している。令和4年に年平均値が2mg/Lを超過している。

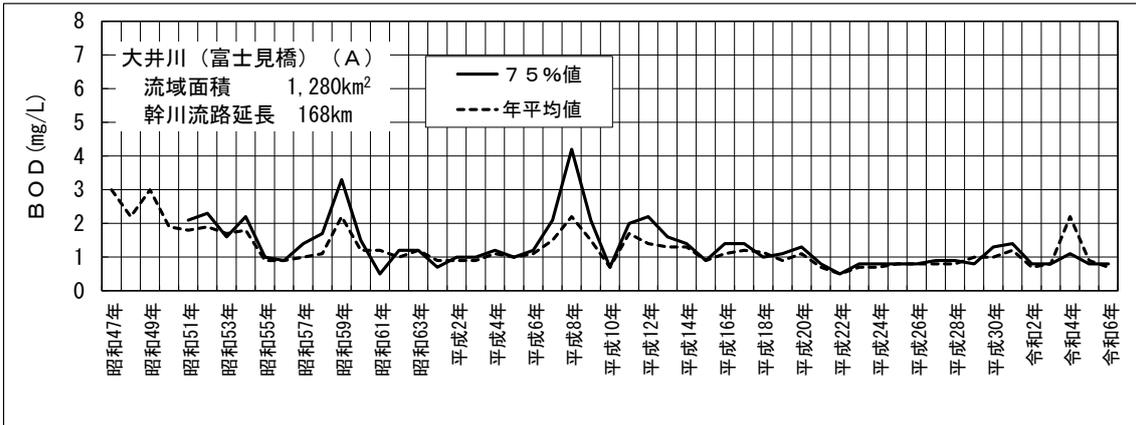


図-4（3） 大井川 富士見橋地点のBOD経年変化

4. 菊川

国安橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（4））をみると、昭和49年をピークに水質改善の傾向にあったが、平成4年に悪化した。その後は再び改善傾向になり、平成14年以降は2mg/L以下で推移している。

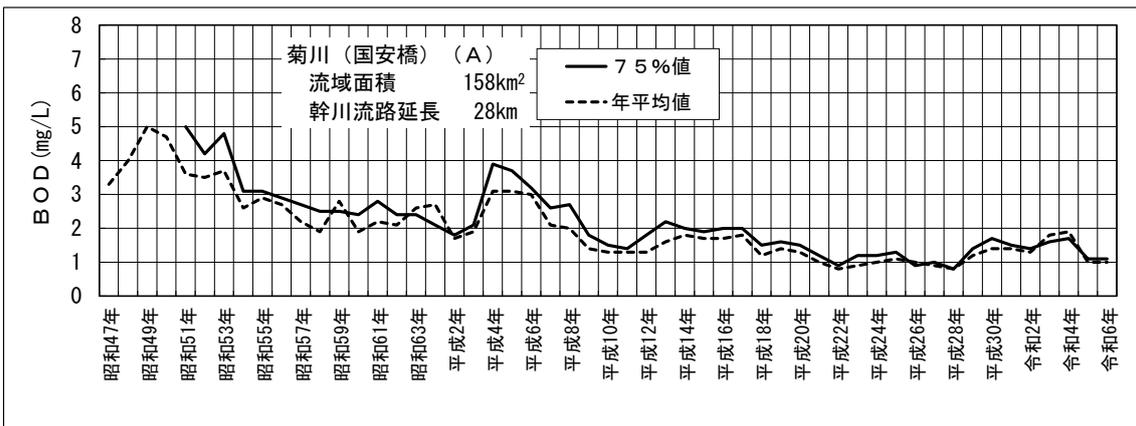


図-4（4） 菊川 国安橋地点のBOD経年変化

5. 天 竜 川

天竜川は富栄養化現象のある諏訪湖^{すわこ}を水源にしているため、一般的な河川とは逆で上流ほど水質が悪い状況となっている。天竜川のBOD経年変化(図-4(5))を見ると平成10年以降は上流の主要地点である新樋橋^{しんといばし}(B類型)は概ね2mg/L前後で、中流の天竜橋^{てんりゅうばし}(A類型)は概ね2mg/L以下で、下流の鹿島橋^{かじまばし}(AA類型)は1mg/L以下で推移している。

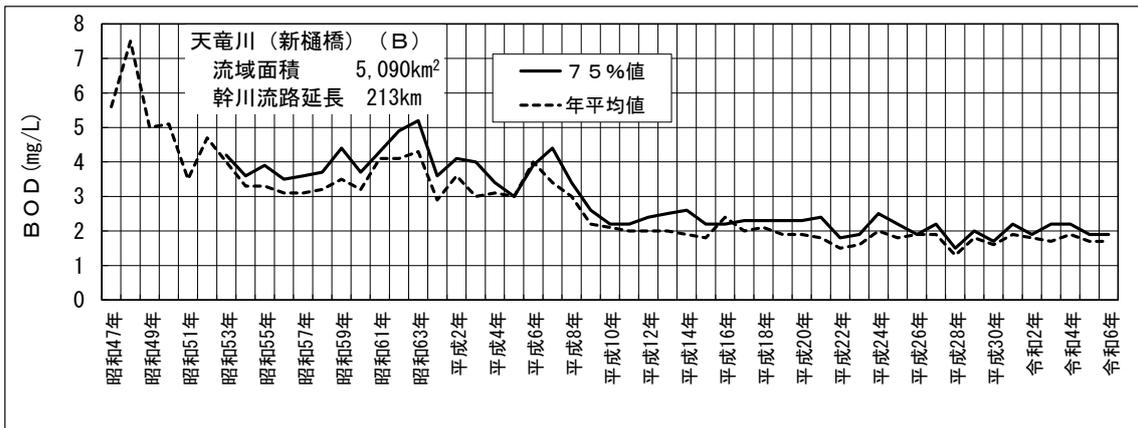


図-4(5-1) 天竜川上流部(新樋橋地点)のBOD経年変化

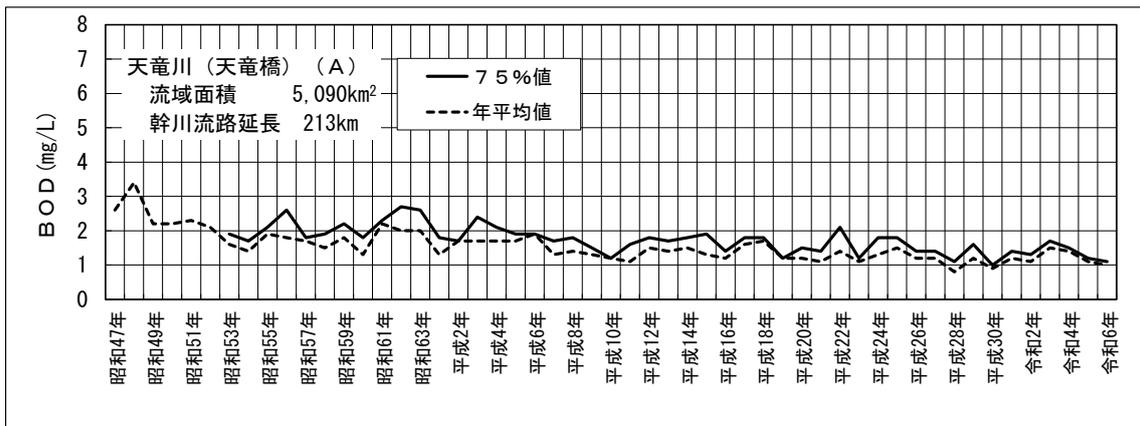


図-4(5-2) 天竜川中流部(天竜橋地点)のBOD経年変化

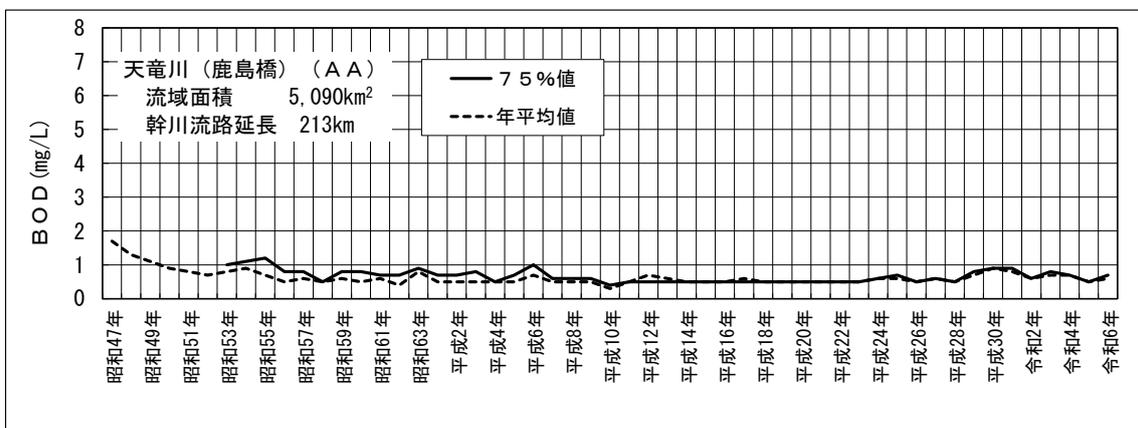


図-4(5-3) 天竜川下流部(鹿島橋地点)のBOD経年変化

6. 豊川

当古橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（6））をみると、平成20年、平成25年を除き、1mg/L以下で推移している。

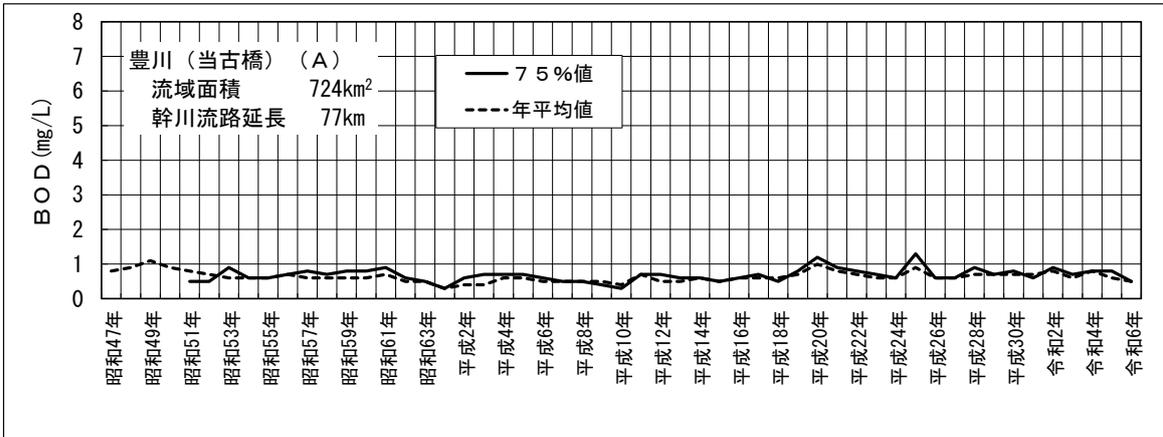


図-4（6） 豊川 当古橋地点のBOD経年変化

7. 矢作川

米津大橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（7））をみると、昭和51年以降1mg/L前後の低い数値を示していたが、昭和59年以降若干上昇し、平成8年ぐらいまで概ね2mg/L前後で推移していた。その後は改善がみられ、平成10年からは1mg/L前後で推移している。

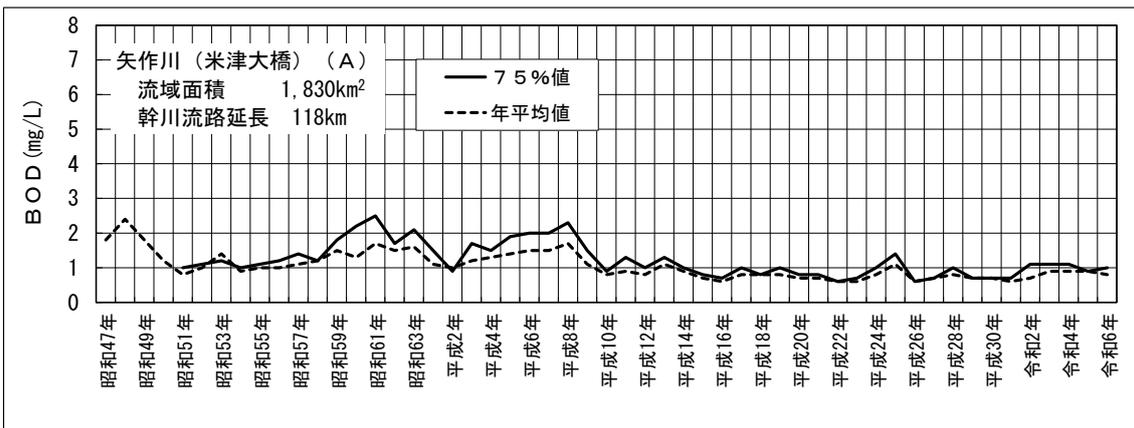


図-4（7） 矢作川 米津大橋地点のBOD経年変化

8. 庄内川

名古屋市を流れる庄内川は、都市下水のほか各種の工場排水が流入し、さらに上流域には製陶業が発展しているため、有機汚濁と白濁が甚だしかった。しかし、枇杷島橋（C類型）のBOD経年変化（図-4（8））をみると、工場排水規制と下水道整備等により、昭和50年代以降の水質は、昭和40年代と比較すると大幅に改善され、平成20年以降は3mg/L前後で推移している。

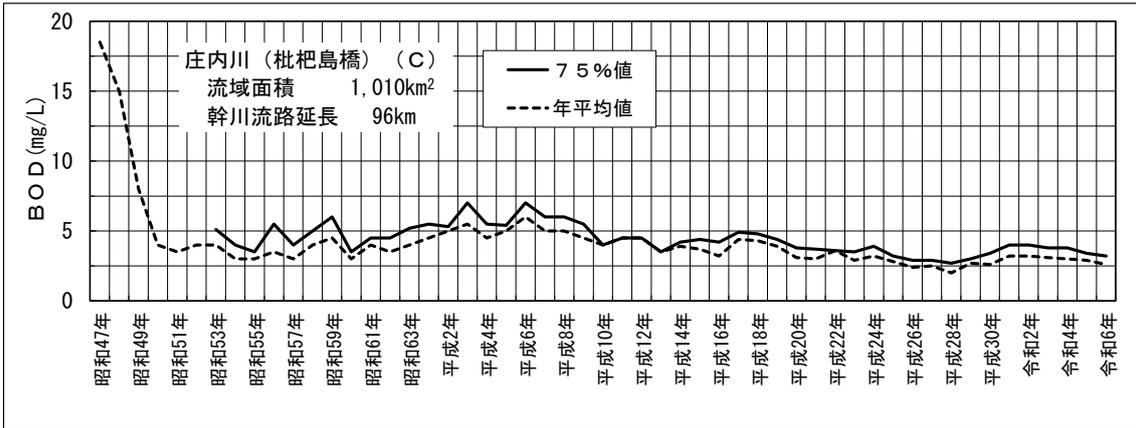


図-4（8） 庄内川 枇杷島橋地点のBOD経年変化

9. 木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）

三川の主要地点におけるBOD経年変化（図-4（9））をみると、各地点とも1mg/L前後で推移している。

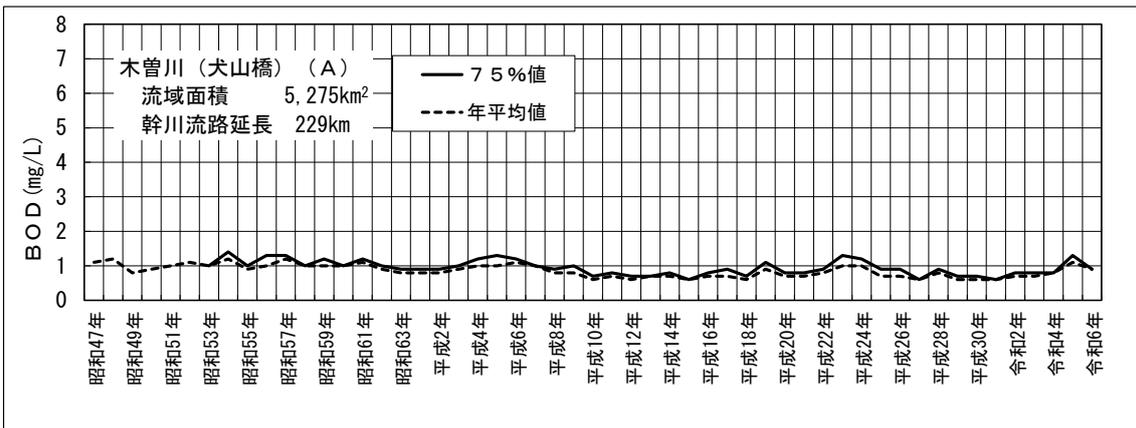


図-4（9-1） 木曾川 犬山橋地点のBOD経年変化

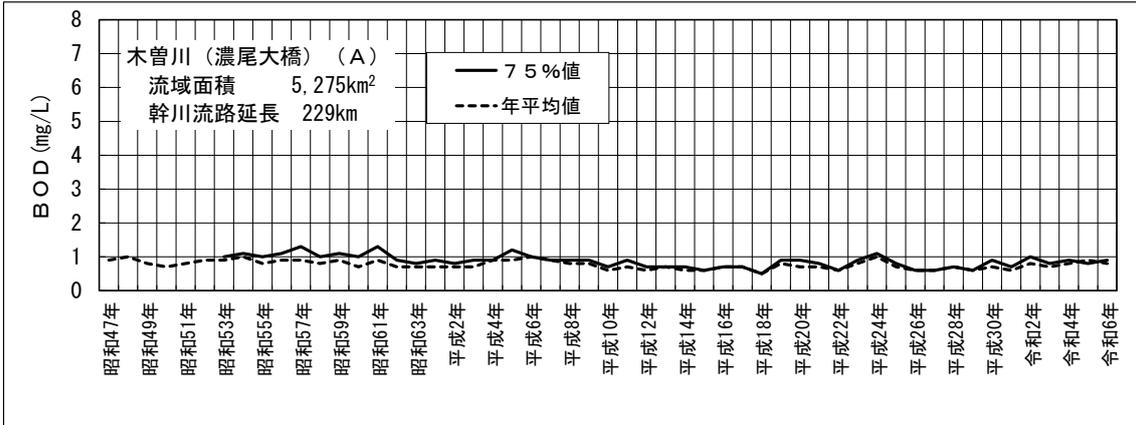


図-4 (9-2) 木曾川 濃尾大橋地点のBOD経年変化

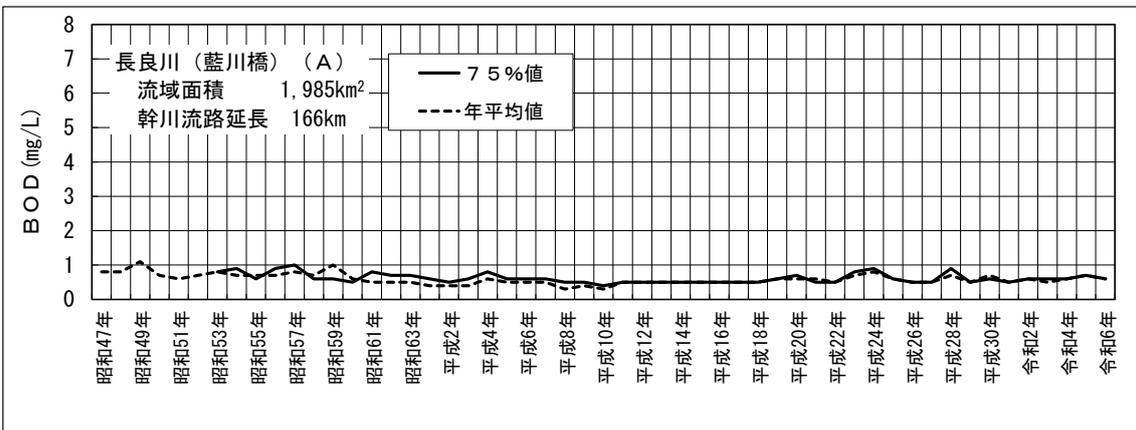


図-4 (9-3) 長良川 藍川橋地点のBOD経年変化

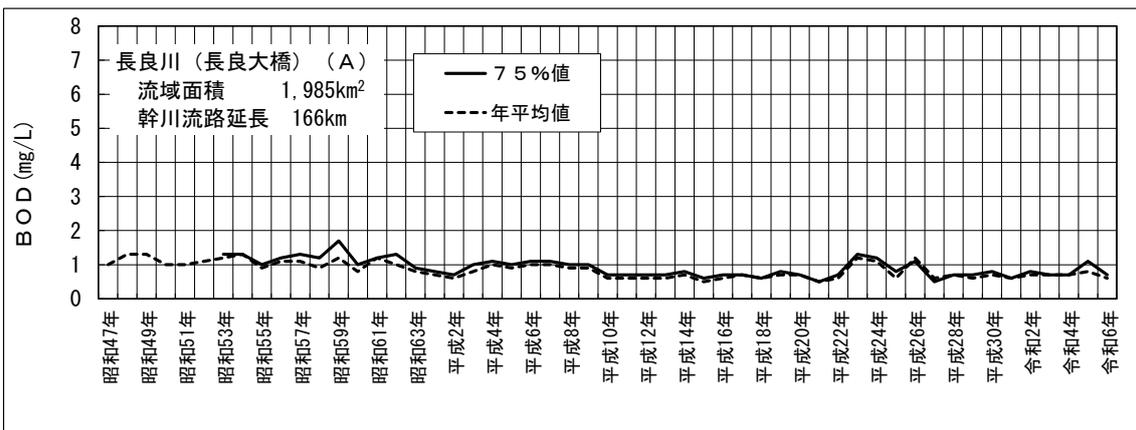


図-4 (9-4) 長良川 長良大橋地点のBOD経年変化

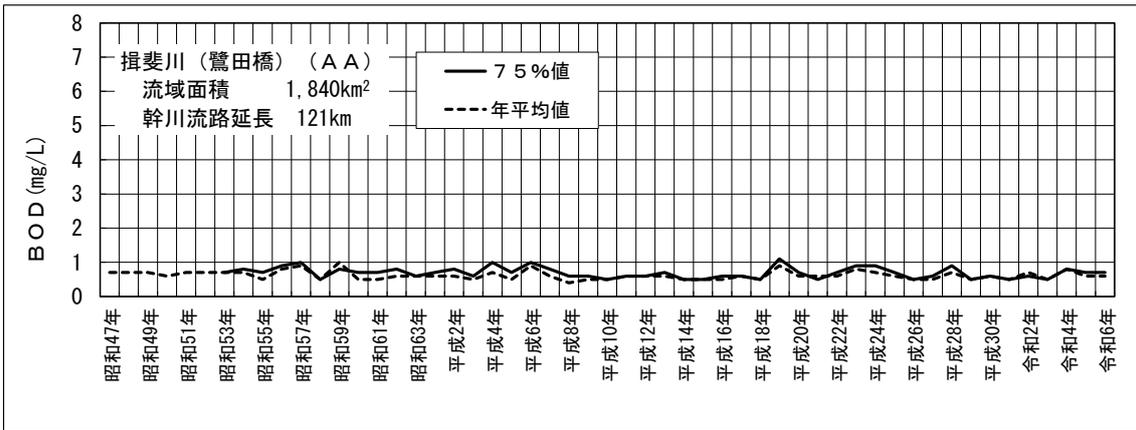


図-4 (9-5) 揖斐川 鷺田橋地点のBOD経年変化

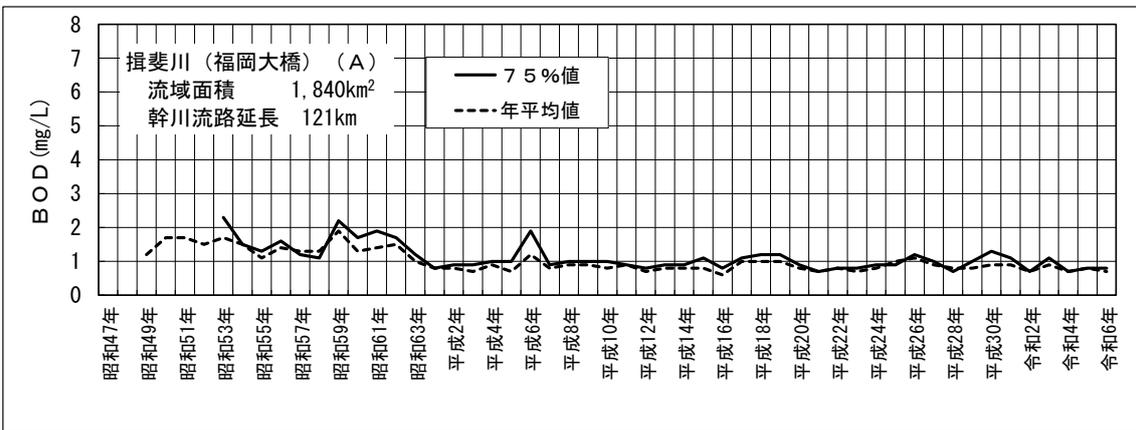


図-4 (9-6) 揖斐川 福岡大橋地点のBOD経年変化

10. 鈴鹿川

高岡橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（10））をみると、昭和50年以降改善され昭和54年以降は1mg/L前後で、平成18年以降は概ね1mg/L以下で推移している。

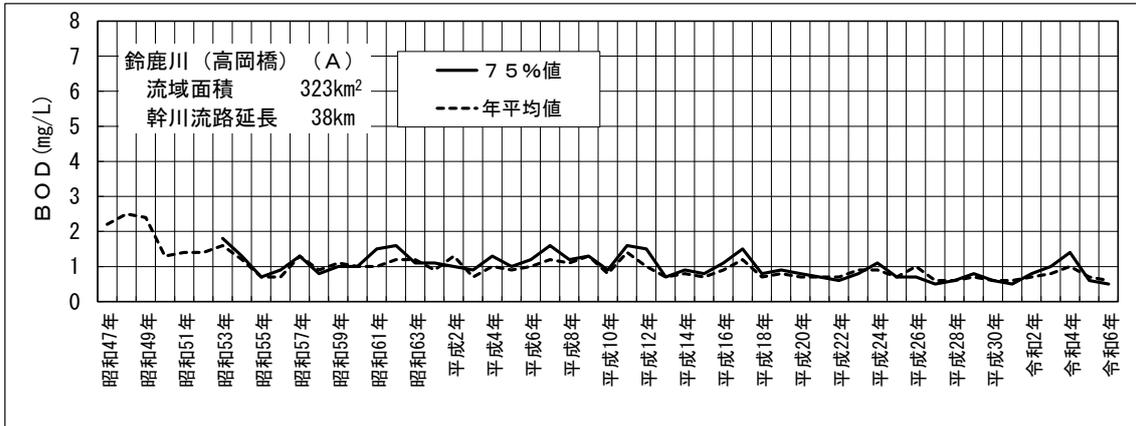


図-4（10） 鈴鹿川 高岡橋地点のBOD経年変化

11. 雲出川

雲出橋（A類型）のBOD経年変化（図-4（11））をみると、1～2mg/L前後と良好である。平成9年から改善傾向にあり、平成29年はやや悪化し、環境基準を超過したものの、概ね1mg/L前後で推移している。

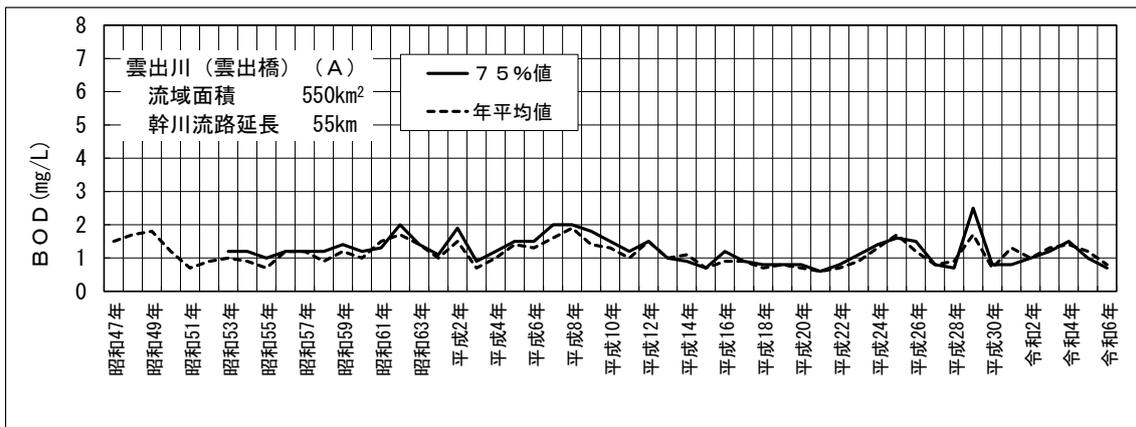


図-4（11） 雲出川 雲出橋地点のBOD経年変化

1.2. 櫛田川

櫛田橋くしだばし（A類型）のBOD経年変化（図-4（12））をみると、昭和47年以降は、概ね1 mg/L以下で推移している。

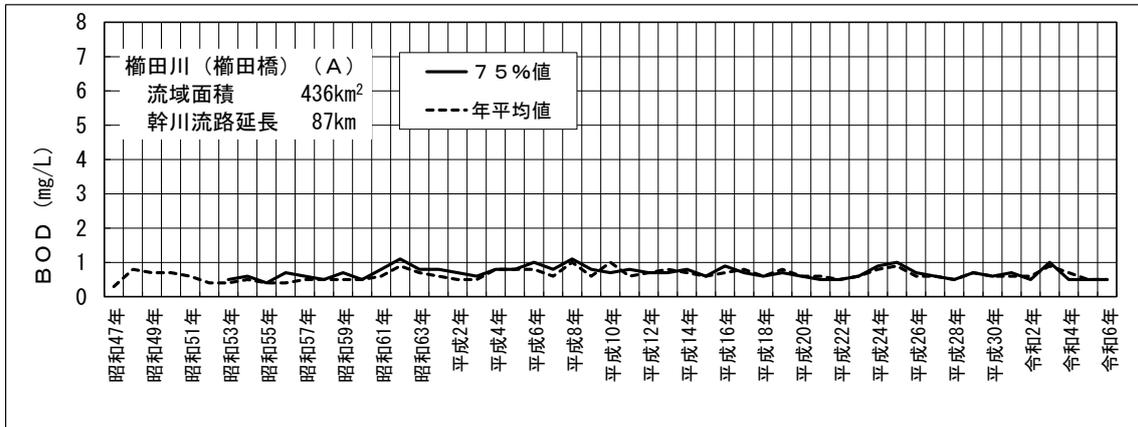


図-4（12） 櫛田川 櫛田橋地点のBOD経年変化

1.3. 宮川

度会橋わたらいばし（AA類型）のBOD経年変化（図-4（13））をみると、測定開始当初より1 mg/L以下を維持している。

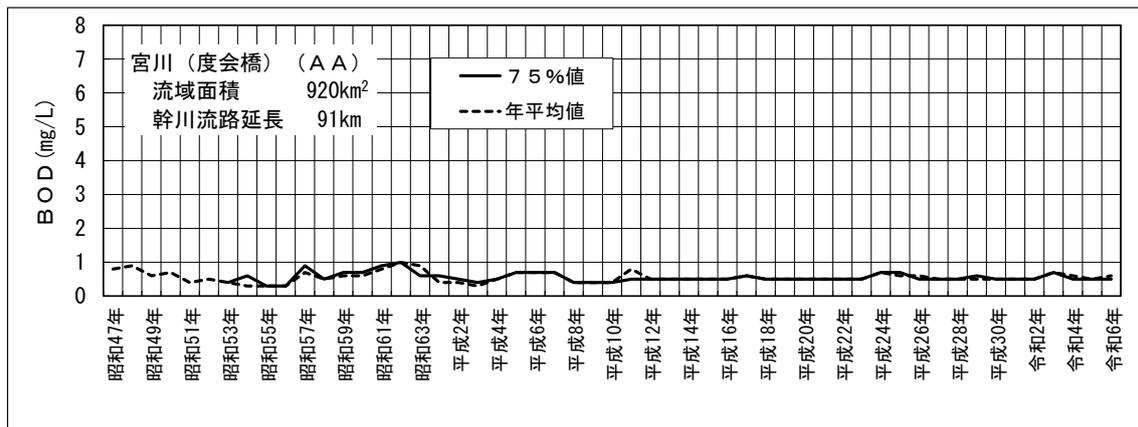


図-4（13） 宮川 度会橋地点のBOD経年変化

(3) 人の健康の保護に関する環境基準の項目からみた水質の現況

人の健康の保護に関する環境基準は、環境基本法に基づき公共用水域に一律に適用されるものとして、27項目が定められている。

令和6年は91地点^{※8}で調査を実施し、全ての地点で環境基準を満足した。

※8・・・河川類型指定95地点、湖沼類型指定4地点、未指定3地点の合計102地点のうち、対象27項目について1項目以上調査を実施した地点

(4) 要監視項目からみた水質の現況

「要監視項目」は、人の健康の保護に関連する物質であるが公共用水域における検出状況等からみて、現時点では直ちに環境基準項目とせず引き続き知見の集積に努めるべきと判断されているものであり、32項目について指針値が設定されている。

令和6年は中部の66地点^{※9}で調査を実施し、全ての地点で指針値を満足した。

※9・・・河川類型指定95地点、湖沼類型指定4地点、未指定3地点の合計102地点のうち、対象32項目について1項目以上調査を実施した地点

(5) 川の生きものを調べよう―水生生物による水質判定―

国土交通省と環境省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の住民の方々の協力のもと、全国で『全国水生生物調査』を実施している。この調査は、サワガニ、カワゲラ類等の川の水に住む生きもの（水生生物）が生息しているかどうかで水質を判定するもので、子どもたちにもわかりやすく、特別な機材を用いないため、誰でも簡単に参加できるものとなっている。

令和6年は、9水系18河川34地点（住民参加は22地点）で調査を実施した。

1) 水質判定方法

①指標生物

川の中には様々な生物が住んでおり、特に川底に住んでいる生物は、過去から現在までの長い時間の水質状況を反映している。

水の中、川底の生物は、きれいな水にしか棲めないものや、汚い水に棲むものに分かれており、この特徴が強く表れる生物を『指標生物』として、表-6の通り設定した。

表－6 水生生物による水質判定 指標生物

きれいな水（Ⅰ）の指標生物		ややきれいな水（Ⅱ）の指標生物	
カワゲラ類	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	オオシマトビケラ	カワニナ類
ナガレトビケラ類	ブユ類	ヒラタドROMシ類	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ類	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
アマカ類	ナミウズムシ		
きれいな水（Ⅰ）とややきれいな水（Ⅱ）の両方で見られる生物（指標生物ではない）			
チラカゲロウ	タニガワカゲロウ類	ニンギョウトビケラ類	ヒゲナガカワトビケラ類
きたない水（Ⅲ）の指標生物		とてもきたない水（Ⅳ）の指標生物	
ミズカマキリ	タニシ類	ユスリカ類	エラミミズ
ミズムシ	シマイシビル	チョウバエ類	サカマキガイ
○イソコツブムシ類	○ニホンドロソコエビ	アメリカザリガニ	

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

②集計・判定方法

捕獲した指標生物の数を数え、以下の方法で、集計・水質判定を行う。

- ・見つかった指標生物の欄に○印を付ける。
- ・数が多かった上位 2 種には●印を付ける。（2 番目、3 番目が同程度の場合は、最大 3 種まで）
- ・水質階級ごとに「1. ○印と●印の個数」と、「2. ●印の個数」を「水質階級の判定」の欄に書き入れる。
- ・1. と 2. の合計を 3. の欄に書き込み、最も大きい数がある場所の水質階級と判定する。
- ・2 つの水質階級が同じ数になった場合は、少ない方の数字の階級を、その場所に水質階級とする。（例：ⅢとⅣが同数の場合はⅢ）

表－7 集計用紙（記入例）

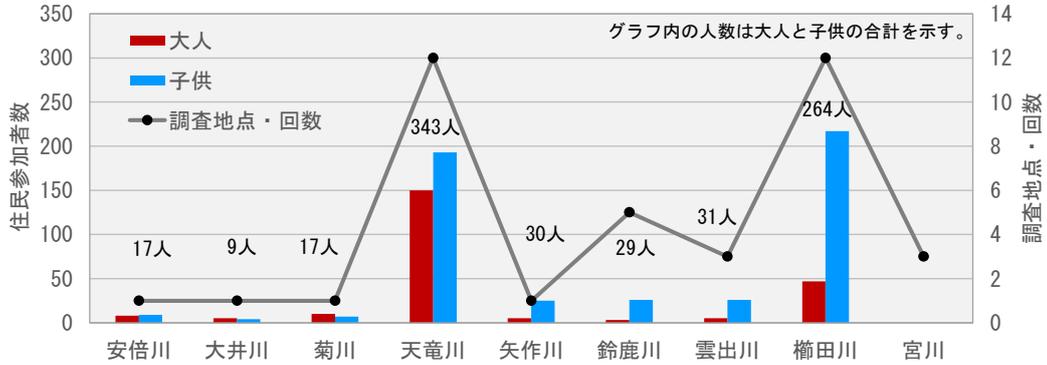
調査場所名(No.)		×××橋下流I-①(1)	△△△川合流部下流I-①(2)	△△△橋上流I-①(3)									
年 月 日 (時刻)		H24・8・27 (13:20)	H24・8・27 (15:20)	H24・8・28 (11:30)									
天 気		くもり	くもり	くもり									
水 温(℃)		21.0	22.4	22.8									
川 幅(m)		5	8	8									
生物を採取した場所		川の中心	左岸側	右岸側									
生物採取場所の水深(cm)		15	15	20									
流れの速さ		ふつう	はやい	おそい									
川底の状態		頭位の石が多い	頭位の石が多い	拳位の石が多い									
水にこり、におい、その他		きれい	少しにこる	少しにこる									
魚、水草、鳥、その他の生物		アユがいた											
水質	指標生物	見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。											
きれいな水	1. カワゲラ類	○											
	2. ヒラタカゲロウ類												
	3. ナガレトビケラ類	○											
	4. ヤマトビケラ類												
	5. アミカ類	○	○										
	6. ヨコエビ類												
	7. ヘビトンボ	●											
	8. ブユ類	○											
	9. サワガニ	●	○										
	10. ナミウズムシ												
ややきれいな水	1. コガタシマトビケラ類		●										
	2. オオシマトビケラ	○	○										
	3. ヒラタドROMシ類		●										
	4. ゲンジボタル		○										
	5. コオニヤンマ		○										
	6. カワニナ類	○											
	7. ヤマトシジミ												
8. イシマキガイ													
きたない水	1. ミズカマキリ		○										
	2. ミズムシ			○									
	3. タニシ類			○									
	4. シマイシビル			●									
	5. ニホンドロソコエビ												
	6. イソコツブムシ類												
とてもきたない水	1. ユスリカ類			●									
	2. チョウバエ類												
	3. アメリカザリガニ												
	4. エラミミズ												
	5. サカマキガイ			●									
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数	6	2			2	5	1				3	2
	2. ●印の個数	2					2					1	2
	3. 合計(1.欄+2.欄)	8	2			2	7	1				4	4
その地点の水質階級		I				II				III			

出典：『川の生きものを調べよう』（環境省 水・大気環境局 国土交通省 水管理・国土保全局）

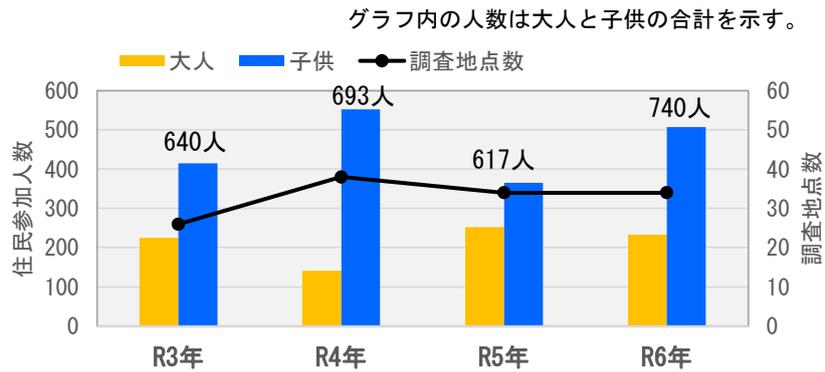
2) 調査状況・結果

①住民参加状況

令和6年は、天竜川水系の343人、櫛田川水系の264人をはじめ、全体で740人の住民が調査に参加し、過去3ヶ年よりも多い。



図－5 水生生物調査の水系別住民参加状況



図－6 水生生物調査の年別住民参加状況

②調査結果

令和6年は、34地点で調査を実施し、19地点で「きれいな水」、15地点で「ややきれいな水」と判定された。

令和6年に調査を実施した河川、地点における指標生物の出現状況と水質判定結果を表－8に示す。

③調査実施状況

川の中で生きものを捕まえ、図鑑と見比べて、分類、集計をした。



④参加者の感想

水系ごとの参加者の感想を表－9に示す。生きものへの興味、川的美化意識、川の中の感触など、いろいろな感想が挙げられている。

表－9 各河川の調査参加者の感想

水系名	河川名	地点名	参加者の感想
安倍川	安倍川	牛妻	・川の生物が採れてよかった。
大井川	大井川	金谷東	・川に入れて楽しかった。
菊川	菊川	菊川橋	・いろいろな生き物がいて楽しかった。 ・たくさん取れて良かった。
天竜川	天竜川 松川 虻川 前沢川 横川川 三峰川	天龍橋、明神橋 天竜大橋、平成大橋 伊那路橋 上溝橋 新虻川橋 新前沢橋 伊那富橋 竜東橋	・採った虫の名前を教えてもらって、興味がわいてきた。初めての参加だったが楽しめた。 ・生き物が昨年より減っていて残念だった。 ・ふだん通っている川でも水の中まで気にすることはなかったの で、とても興味深く、貴重な体験になった。 ・別の場所でもやってみよう。
矢作川	矢作川	豊田市渡刈町地先	・普段体験できないことができて楽しかった。 ・流木などに生物の隠れ家みたいところがあった。
鈴鹿川	鈴鹿川 内部川	庄野橋 河原田橋	・去年よりゴミが少ない。 ・川は遠くから見ていた印象よりきれいだった。 ・川は思ったよりきれいだった。 ・生き物が多かった。 ・生態系ができていた。
雲出川	雲出川	小野江頭首工	・水が冷たい。 ・藻が減ってほしい。
榑田川	榑田川 佐奈川	榑田橋 両郡橋 JR佐奈川橋梁 大峯橋 槇尾橋	・川は思ったよりもきれい。 ・トビケラの巣が多かった。 ・苔がいっぱいだった。 ・生き物がいっぱいいて楽しかった。 ・冷たいところと暖かいところがあった。 ・深いところが冷たい。 ・暖かいところに生き物がいた。 ・川の温かさが違った。 ・カニは石の隙間で良くとれた。 ・思ったよりきれいだった。 ・近くで見たらきれいだった。 ・草の中に何かいそうで怖い。 ・楽しかった。 ・石がごつごつしていた。 ・ゴミが多い。 ・水が冷たかった。 ・歩きにくい。 ・もっときれいにしたい。 ・土が溜まっていないところはちょっと汚いイメージがあった。 ・岩の上は滑って危なかった。 ・いっぱい生物がいたからそんなに汚い川ではないと思った。 ・思っていたより深いところがあった。 ・場所によっては濁っていたところもあったけれど、きれいで透き通っているところもあった。 ・これからも調査を続けて行ってゴミが落ちていたら川の清掃を行いたい。 ・濁っているところもあったけれど、ゴミがたくさんあったわけではなくきれいな川だと思った。 ・水生生物はややきれいな生き物が多かったのがよかった。 ・岩が滑りやすかった。 ・魚があまりいなかった。 ・草が少なくなっていた。 ・魚が多く感じた。

2. ダイオキシン類からみた水質状況

(1) 調査目的

ダイオキシン類は、人の生命や健康に重大な影響を与えるおそれがある物質であることから、ダイオキシン類による環境汚染の防止及びその除去等をするため、「ダイオキシン類対策特別措置法」が制定され、平成12年から施行されている。

国土交通省では、環境省と連携し平成11年9月から緊急的に公共用水域（河川・湖沼）の水質・底質のダイオキシン類調査を実施しており、平成13年までの調査結果から、「河川、湖沼等におけるダイオキシン類常時監視マニュアル」を策定し、平成14年から監視マニュアルに従って監視を行っている。（マニュアルは随時更新。現在は令和5年6月版）

(2) 調査内容

1) 調査対象物質

調査対象物質としては、ダイオキシン類 {ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)及びダイオキシン様PCB} の調査を実施した。

2) 調査地点

中部地方整備局管内の直轄13水系代表24地点において、ダイオキシン類の実態調査を実施している。

令和6年は24地点の内、水質は16地点、底質は15地点で実施した。
(表-10) 位置図を図-8に示す。

表－１０ ダイオキシン類調査地点

水系名	河川名	地点名	地点種別※10	位置	備考
狩野川	狩野川	徳倉橋	基準監視地点	静岡県駿東郡清水町徳倉	
安倍川	安倍川	安倍川橋	基準監視地点	静岡県静岡市駿河区手越	
大井川	大井川	富士見橋	基準監視地点	静岡県榛原郡吉田町大幡	
菊川	菊川	高田橋	基準監視地点	静岡県菊川氏上平川	
天竜川	天竜川	鹿島橋	基準監視地点	静岡県浜松市天竜区二俣町鹿島	
豊川	豊川	江島橋	基準監視地点	愛知県豊川市一宮町江島	
矢作川	矢作川	米津大橋	基準監視地点	愛知県西尾市米津	
庄内川	庄内川	枇杷島橋	基準監視地点	愛知県清須市西枇杷島町南間屋	
	矢田川	天神橋	補助監視地点	愛知県名古屋守山区守山川田	水質のみ
木曾川	木曾川	濃尾大橋	基準監視地点	愛知県一宮市起	
	長良川	伊勢大橋	基準監視地点	三重県桑名市長島町十日外面	
	揖斐川	福岡大橋	基準監視地点	岐阜県海津市海津町福岡	
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	基準監視地点	三重県鈴鹿市一宮町	
雲出川	雲出川	雲出橋	基準監視地点	三重県松阪市小野江町	
櫛田川	櫛田川	櫛田橋	基準監視地点	三重県松阪市豊原町	
宮川	宮川	度会橋	基準監視地点	三重県伊勢市中島町	

※10…地点種別は以下のとおりである。

(「河川、湖沼等におけるダイオキシン類常時監視マニュアル」参照)

・「基準監視地点」

水系の順流最下流に位置する環境基準点。(年1回調査)全15箇所。

・「補助監視地点」

その他の環境基準点、過去の調査結果や河川砂防技術基準 調査編を考慮した地点、底質の堆積しやすい最下流地点(感潮域)及びダム・堰等のうち、いずれかで基準監視地点における監視を補完する地点。(3年に1回調査)

・「重点監視地点」(中部地方整備局には存在しない)

基準監視地点、補助監視地点のうち環境基準値を超えた地点。(年2回または年4回調査)

3) 調査方法

水質及び底質の分析方法は、以下に示す方法に基づいて実施した。

(i) 水質：J I S K 0 3 1 2 (2 0 2 0 年)

「工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法」

(ii) 底質：「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」

(環境省水・大気環境局水環境課 令和4年3月)

4) 調査時期

水質及び底質調査は、表-11に示す日程で実施した。

表-11 ダイオキシン類調査実施日

水系名	河川名	地点名	調査年月日
狩野川	狩野川	徳倉橋	令和6年10月22日
安倍川	安倍川	安倍川橋	令和6年10月22日
大井川	大井川	富士見橋	令和6年10月16日
菊川	菊川	高田橋	令和6年10月17日
天竜川	天竜川	鹿島橋	令和6年10月29日
豊川	豊川	江島橋	令和6年10月18日
矢作川	矢作川	米津大橋	令和6年10月18日
庄内川	庄内川	枇杷島橋	令和6年10月16日
	矢田川	天神橋	令和6年10月16日
木曾川	木曾川	濃尾大橋	令和6年10月8日
	長良川	伊勢大橋	令和6年10月7日
	揖斐川	福岡大橋	令和6年10月8日
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	令和6年10月15日
雲出川	雲出川	雲出橋	令和6年10月15日
櫛田川	櫛田川	櫛田橋	令和6年10月16日
宮川	宮川	度会橋	令和6年10月16日

5) 調査結果

水質及び底質調査結果の検出範囲を表-12に、地点別の測定結果を表-13に示す。

水質及び底質調査結果ともに、国土交通省の全ての観測地点において環境基準（水質：1 pg-TEQ/L、底質：150 pg-TEQ/g）を満足していた。

表-12 令和6年ダイオキシン類調査結果（検出範囲）

（単位：水質pg-TEQ/L、底質pg-TEQ/g）

調査の区分	調査結果（検出範囲）※11	
	水質	底質
令和6年調査結果	0.067 ～ 0.24 ・安倍川 安倍川橋 ・菊川 高田橋	0.21 ～ 5.5 ・安倍川 安倍川橋 ・掛斐川 福岡大橋 ・大井川 富士見橋 ・天竜川 鹿島橋

[環境基準] 水質 1 pg-TEQ/L

底質 150pg-TEQ/g

※11…水質・底質毎に中部地方整備局管内で測定された最低値と最大値及びそれらを観測した地点を示す。

表-13 令和6年 ダイオキシン類地点別測定結果

水系名	河川名	地点名	基準監視地点 or 補助監視地点	水質 pg-TEQ/L	底質 pg-TEQ/g
狩野川	狩野川	徳倉橋	基準監視地点	0.11	0.26
安倍川	安倍川	安倍川橋	基準監視地点	0.067	0.21
大井川	大井川	富士見橋	基準監視地点	0.068	0.21
菊川	菊川	高田橋	基準監視地点	0.24	0.62
天竜川	天竜川	鹿島橋	基準監視地点	0.074	0.21
豊川	豊川	江島橋	基準監視地点	0.11	0.22
矢作川	矢作川	米津大橋	基準監視地点	0.20	0.22
庄内川	庄内川	枇杷島橋	基準監視地点	0.11	0.22
	矢田川	天神橋	補助監視地点	0.080	—
木曾川	木曾川	濃尾大橋	基準監視地点	0.16	0.24
	長良川	伊勢大橋	基準監視地点	0.12	2.0
	揖斐川	福岡大橋	基準監視地点	0.21	5.5
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡橋	基準監視地点	0.12	0.24
雲出川	雲出川	雲出橋	基準監視地点	0.19	0.32
櫛田川	櫛田川	櫛田橋	基準監視地点	0.15	0.38
宮川	宮川	度会橋	基準監視地点	0.079	0.30

※12…検出下限値未満の値は、検出下限値の1/2として算出

※13…測定結果は、毒性等価係数(TEF)に基づきTEQ値を算出

TEQ値：環境中には様々なダイオキシン類が存在し、それぞれ毒性の強さが異なっている。

そこで、実際のダイオキシン類の環境影響を判定する際には、それぞれのダイオキシン物質の測定濃度に「2,3,7,8-四塩化ダイオキシン毒性等価係数(TEF)」を掛け、「2,3,7,8-四塩化ダイオキシン」に換算した数値を用いて判定する。このように換算した数値を毒性等量(TEQ)と呼び、通常ダイオキシン類の量を表現する場合の単位として用いられている。(1pg-TEQ/L：水1L中に、毒性等量で1pgのダイオキシンが含まれている。)

3. 水質事故の発生状況

(1) 水質事故の確認件数

平成25年から令和6年までの中部の水質事故発生件数の経年変化を図-9に示す。令和6年(1月～12月)における中部の一級河川に係る水質事故発生件数は61件で、3年連続で増加している。近5ヶ年の水系別の水質事故件数を図-10に示す。これを見ると、矢作川、庄内川、長良川^(※14)、揖斐川^(※14)、鈴鹿川、雲出川で昨年よりも増加し、他の水系では、減少している。

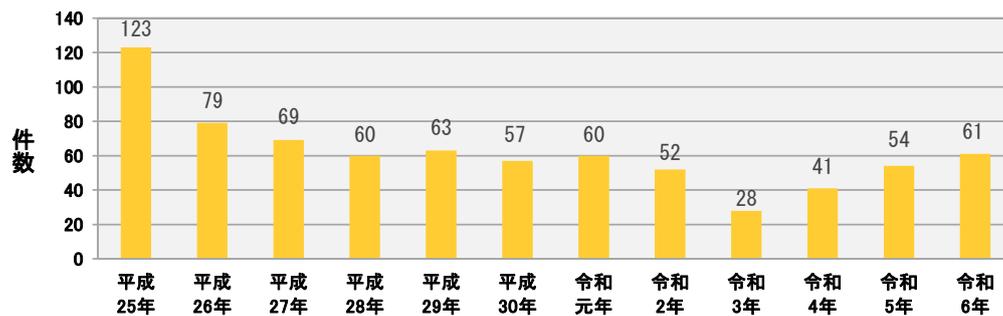


図-9 水質事故の確認件数の経年変化

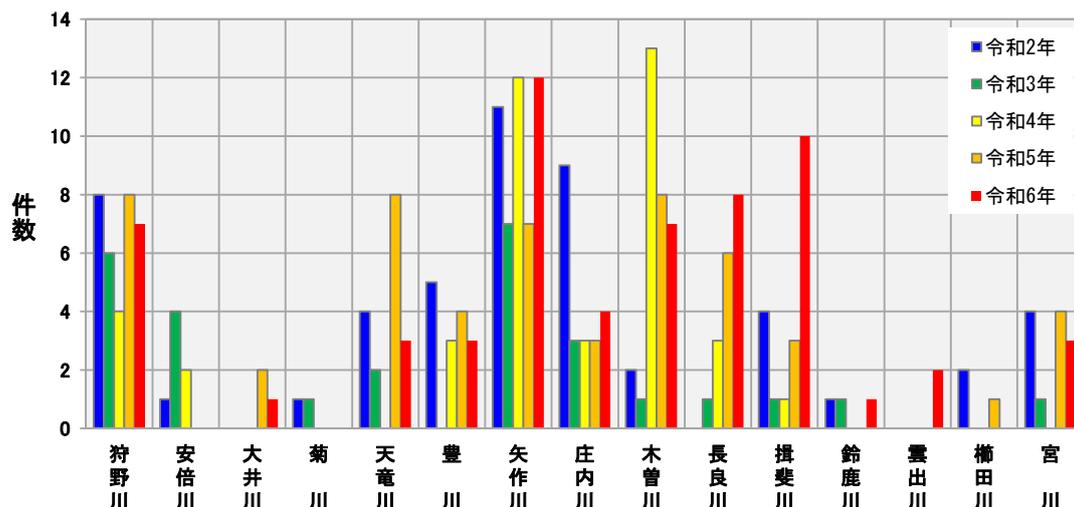


図-10 水質事故発生件数の水系別経年変化^(※14)

※14…木曾川水系は木曾川・長良川・揖斐川に分割

なお、一級水系については、河川管理者と関係機関により構成される「水質汚濁対策連絡協議会」又は「水質保全連絡協議会」が全ての水系に設置されており、事故発生時に迅速な情報収集、通報、連絡を行うとともに、関係機関との連携のもとオイルフェンスの設置等により被害の拡大防止に努めている。



水質事故対策訓練の様子

(2) 水質事故の発生要因

1) 種類別の水質事故件数

図-11、12に示したように水質事故の原因物質としては、重油・軽油等の油の流出事故が77%と最も多くの割合を占めている。油類による水質事故は、例年70%程度で、令和6年はやや高い割合であった。

令和6年には、水質事故により取水を停止する事案は発生しなかった。

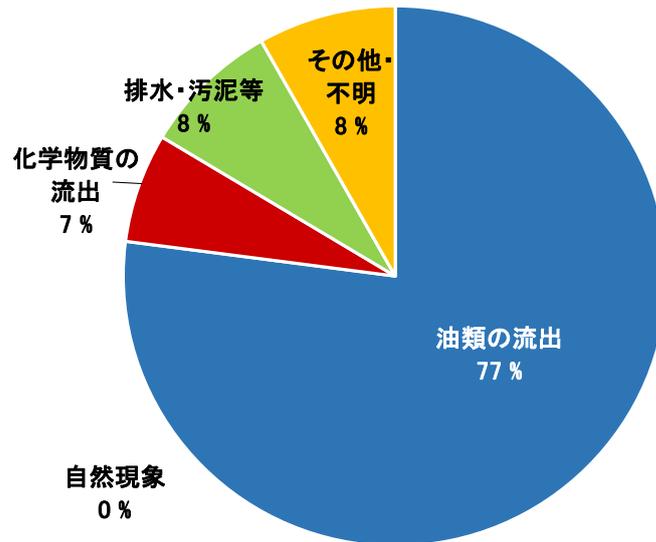


図-11 水質事故発生件数の種類別割合

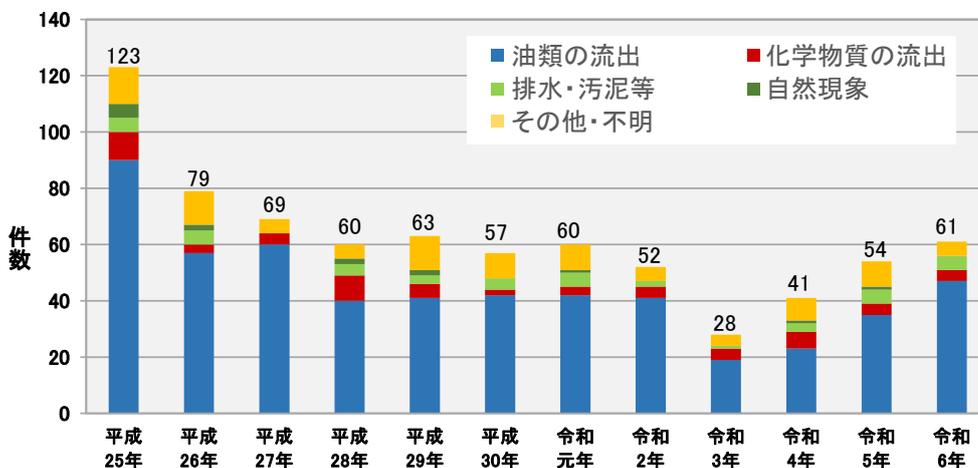


図-12 水質事故の種類別確認件数の経年変化

《原因物質による分類》

- 油類……………重油、軽油、ガソリン等の流出
- 化学物質……………有機溶剤、農薬等の流出
- 排水・汚泥等……………家畜のふん尿等の排水や汚水、汚泥等の流出
- 自然現象……………濁水が原因の酸欠による魚の斃死等の、人間の活動が直接の原因でないもの
- その他（原因不明）…自然現象と断定できないもので、原因を究明できないもの

2) 原因別の水質事故件数

図-13、14に示したように原因別の水質事故件数を見ると、機械の故障と操作ミスがそれぞれ20%、31%を占めている。

機械の故障と操作ミスによる水質事故は、これまで合わせて40%程度でしたが、令和6年は全体の51%と高い割合となった。

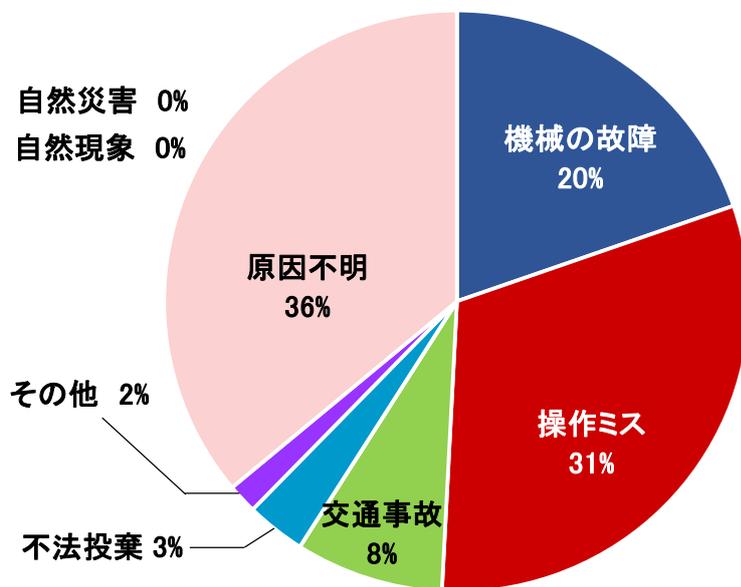


図-13 水質事故発生件数の原因別割合

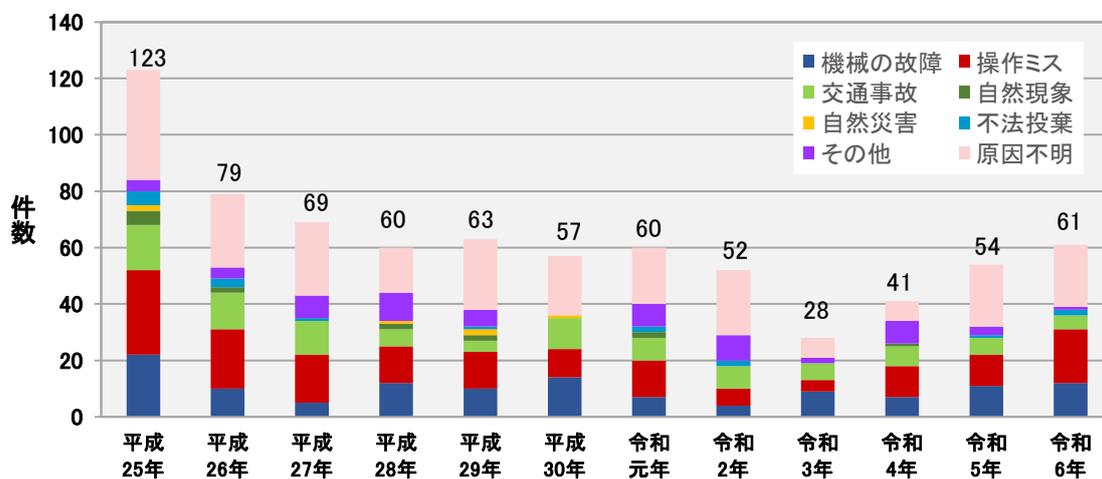


図-14 水質事故発生件数の原因別経年変化

巻末資料1 生活環境の保全に関する環境基準

河川（湖沼を除く）：生物化学的酸素要求量（BOD）

項目 類型	※15 利用目的の 適応性	※16 基準値 生物化学的 酸素要求量 (BOD)	項目 類型	※15 利用目的の 適応性	※16 基準値 生物化学的 酸素要求量 (BOD)
	AA	水道1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げ るもの		1mg/L 以下	C
A	水道2級 水産1級 水浴及び B以下の欄に掲げ るもの	2mg/L 以下	D	工業用水2級 農業用水及び E以下の欄に掲げ るもの	8mg/L 以下
B	水道3級 水産2級及び C以下の欄に掲げ るもの	3mg/L 以下	E	工業用水3級 環境保全	10mg/L 以下

※15…自然環境保全：自然探勝等の環境保全

水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの。

水道 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの。

水道 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの。

水産 1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び
水産3級の水産生物用

水産 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の
水産生物用

水産 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等含む。）において不快感を生じな
い限度

※16…基準値は日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。。

巻末資料2 人の健康の保護に関する環境基準

項目名	基準値		備考
カドミウム	0.003	mg/L以下	1. 基準値は年間平均値とする。ただし全シアンに係る基準値については最高値とする。
全シアン	検出されないこと		
鉛	0.01	mg/L以下	2. 「検出されないこと」とは定められた測定方法により測定した場合において、その結果が定量限界を下回ることをいう。
六価クロム	0.02	mg/L以下	
ヒ素	0.01	mg/L以下	
総水銀	0.0005	mg/L以下	
アルキル水銀	検出されないこと		
PCB	検出されないこと		
ジクロロメタン	0.02	mg/L以下	
四塩化炭素	0.002	mg/L以下	
1,2-ジクロロエタン	0.004	mg/L以下	
1,1-ジクロロエチレン	0.1	mg/L以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	mg/L以下	3. 海域については、フッ素及びホウ素の基準値は適用しない。
1,1,1-トリクロロエタン	1	mg/L以下	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	mg/L以下	
トリクロロエチレン	0.01	mg/L以下	
テトラクロロエチレン	0.01	mg/L以下	
1,3-ジクロロプロペン	0.002	mg/L以下	
チウラム	0.006	mg/L以下	
シマジン	0.003	mg/L以下	
チオベンカルブ	0.02	mg/L以下	
ベンゼン	0.01	mg/L以下	
セレン	0.01	mg/L以下	4. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	mg/L以下	
フッ素	0.8	mg/L以下	
ホウ素	1	mg/L以下	
1,4-ジオキサン	0.05	mg/L以下	

巻末資料3 要監視項目及び指針値

項 目 名	指 針 値	備 考
イ ソ キ サ チ オ ン	0.008 mg/L以下	殺虫剤 (ゴルフ場農薬)
ダ イ ア ジ ノ ン	0.005 mg/L以下	" (")
フェニトロチオン (MEP)	0.003 mg/L以下	" (")
イ ソ プ ロ チ オ ラ ン	0.04 mg/L以下	殺菌剤 (")
オキシシン銅 (有機銅)	0.04 mg/L以下	" (")
クロロタロニル (TPN)	0.05 mg/L以下	" (")
プ ロ ピ ザ ミ ド	0.008 mg/L以下	除草剤 (")
E P N	0.006 mg/L以下	" (一般農薬)
ジクロロボス (DDVP)	0.008 mg/L以下	" (")
フェノブカルブ (BPMC)	0.03 mg/L以下	" (")
イプロベンホス (IBP)	0.008 mg/L以下	" (")
クロルニトロフェン (CNP)	-	" (")
ク ロ ロ ホ ル ム	0.06 mg/L以下	
トランス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	
1, 2-ジクロロプロパン	0.06 mg/L以下	
p-ジクロロベンゼン	0.2 mg/L以下	
ト ル エ ン	0.6 mg/L以下	
キ シ レ ン	0.4 mg/L以下	
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/L以下	
ニ ッ ケ ル	-	
モ リ ブ デ ン	0.07 mg/L以下	
ア ン チ モ ン	0.02 mg/L以下	
塩化ビニルモノマー	0.002 mg/L以下	
エピクロロヒドリン	0.0004 mg/L以下	
全 マ ン ガ ン	0.2 mg/L以下	
ウ ラ ン	0.002 mg/L以下	
ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタ ン酸 (PFOA)	0.00005 mg/L以下	(暫定) ※

※PFOS及びPFOAの指針値 (暫定) については、PFOS及びPFOAの合計値とする。

巻末資料4 水生生物の保全に係る要監視項目及び指針値

項目	水域	類型	指針値
クロロホルム	河川及び湖沼	生物A	0.7mg/L以下
		生物特A	0.006mg/L以下
		生物B	3mg/L以下
		生物特B	3mg/L以下
フェノール	河川及び湖沼	生物A	0.05mg/L以下
		生物特A	0.01mg/L以下
		生物B	0.08mg/L以下
		生物特B	0.01mg/L以下
ホルムアルデヒド	河川及び湖沼	生物A	1mg/L以下
		生物特A	1mg/L以下
		生物B	1mg/L以下
		生物特B	1mg/L以下
4-t-オクチルフェノール	河川及び湖沼	生物A	0.001mg/L以下
		生物特A	0.0007mg/L以下
		生物B	0.004mg/L以下
		生物特B	0.003mg/L以下
アニリン	河川及び湖沼	生物A	0.02mg/L以下
		生物特A	0.02mg/L以下
		生物B	0.02mg/L以下
		生物特B	0.02mg/L以下
2,4-ジクロロフェノール	河川及び湖沼	生物A	0.03mg/L以下
		生物特A	0.003mg/L以下
		生物B	0.03mg/L以下
		生物特B	0.02mg/L以下

巻末資料4 令和6年 中部の水質（BOD75%値）位置図

令和6年 中部の水質

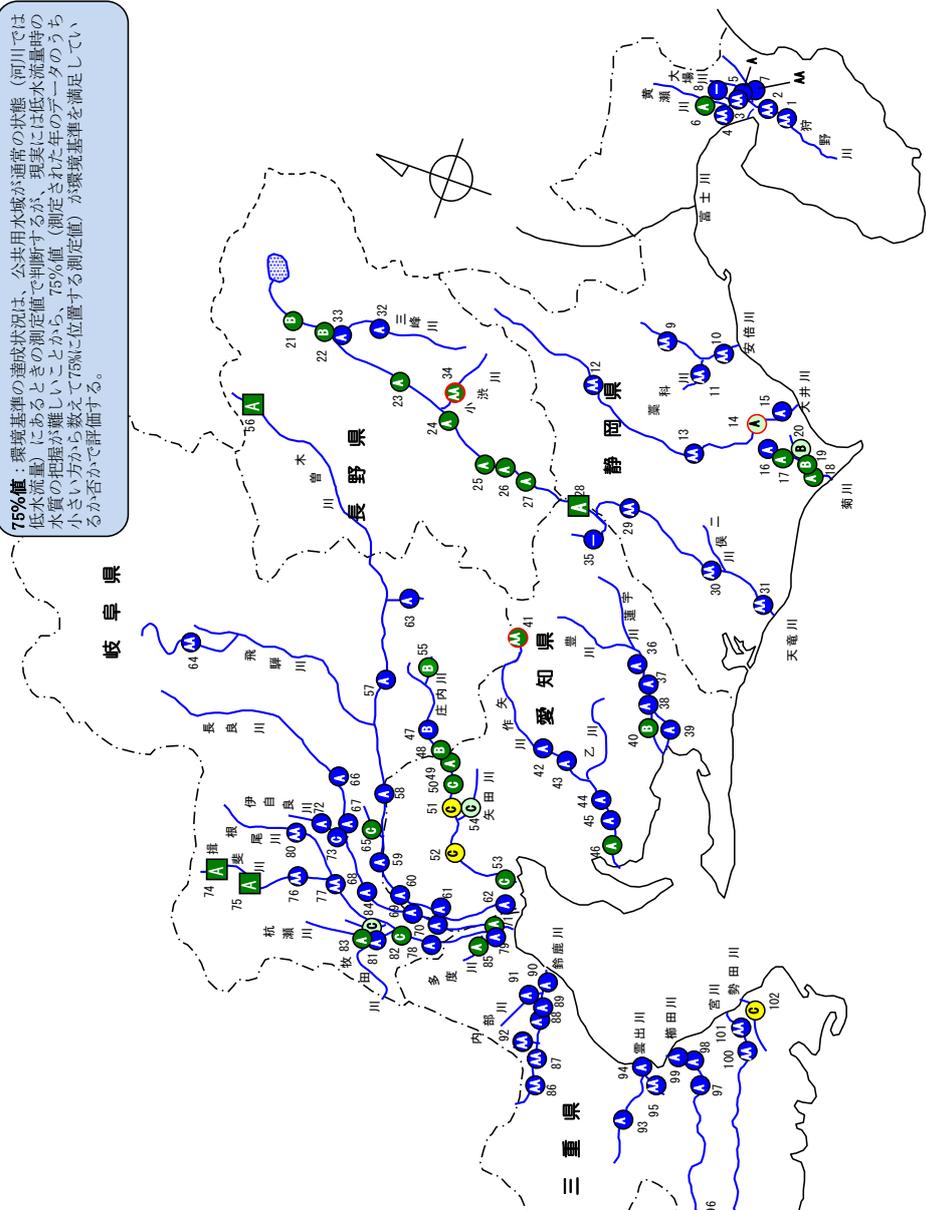
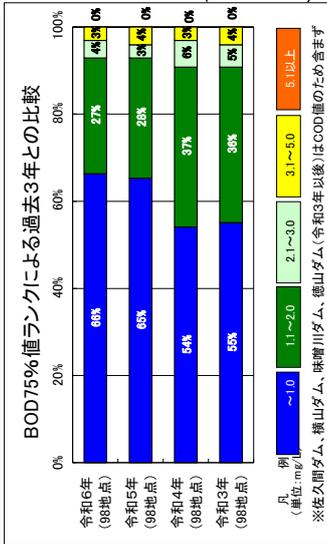
(BOD75%値からみた)

BOD (Biochemical Oxygen Demand) : 川の汚れの程度を図る代表的な尺度である。水中の汚れ(有機物)は微生物により分解されるが、その時に消費される酸素の量をBODといい、BODの値が大きければ水が汚れていることを表す。

75%値 : 環境基準の達成状況は、公共用水域が通常の状態(河川では低水流量)にあるときの測定値で判断するが、現実には低水流量時の水質の把握が難しいことから、75%値(測定された年のデータのうち小さい方から数えて75%に位置する測定値)が環境基準を満足しているかどうかで評価する。

凡例	
色	ランク
青	1. 0mg/L以下
緑	1.1~2.0
黄	2.1~3.0
赤	3.1~5.0
紫	5.1~8.0
黒	8.1~10.0
白	10.1以上
湖沼(COD)	湖沼(COD)
A	1mg/L以下
A	2mg/L以下
B	3mg/L以下
C	5mg/L以下
D	8mg/L以下
E	10mg/L以下
—	類型未指定

1. ○は河川水質(BOD75%値)、□は湖沼水質(COD75%値)
 2. ○、□内の記号は、環境基準の類型である。
 3. ○、□は環境基準を満足していない地点である。
 4. 数字は表-1、巻末資料5 に示す調査地点である。



巻末資料5 令和6年 中部の水質（BOD75%値）一覧表

BOD (COD) の単位：mg/L

水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	水系名	河川名	地点番号	地点名	類型	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
					BOD75%値	BOD75%値	BOD75%値	BOD75%値						BOD75%値	BOD75%値	BOD75%値	BOD75%値	
狩野川	狩野川	1	大仁橋	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	木曾川 (木曾川)	木曾川	56	味噌川ダム※	湖沼AⅡ	3.0	1.4	1.0	1.1	
	"	2	千歳橋	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		"	57	丸山ダム	A	0.8	0.6	0.6	0.7	
	"	3	徳倉橋	AA	0.6	0.8	0.7	0.6		"	58	犬山橋	A	0.8	0.8	1.3	0.9	
	"	4	黒瀬橋	AA	0.5	0.9	0.5	0.5		"	59	木曾川橋	A	0.7	0.8	0.7	0.8	
	"	大場川	5	塚本橋	A	1.0	1.1	1.2		0.9	"	60	濃尾大橋	A	0.8	0.9	0.8	0.9
	"	黄瀬川	6	黄瀬川橋	A	1.3	1.8	1.3		1.4	"	61	東海大橋	A	0.8	0.5	0.7	0.7
	"	栄光川	7	蛇ヶ橋	AA	<0.5	0.7	0.5		0.5	"	62	横溝蔵	A	1.3	1.2	1.1	0.9
	"	柿田川	8	柿田橋	未指定	<0.5	<0.5	<0.5		<0.5	"	阿木川	63	阿木川ダム	A	0.8	0.8	0.9
安倍川	安倍川	9	曙橋	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	木曾川 (長良川)	馬瀬川	64	岩屋川橋	AA	0.5	0.6	0.7	0.6	
	"	10	安倍川橋	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		"	新境川	65	米野	C	1.5	2.2	1.5	1.5
	"	11	牧ヶ谷橋	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		"	長良川	66	藍川橋	A	0.6	0.6	0.7	0.6
大井川	大井川	12	長島ダム	AA	1.5	1.6	0.6	0.6		"	67	鏡島大橋	A	0.7	0.6	0.9	0.7	
	"	13	神座	AA	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5		"	68	長良大橋	A	0.7	0.7	1.1	0.7	
	"	14	谷口橋	A	1.4	2.8	2.6	2.2		"	69	南濃大橋	A	0.8	0.7	0.8	0.7	
	"	15	富士見橋	A	0.8	1.1	0.8	0.8		"	70	東海大橋	A	1.0	0.7	0.7	0.6	
菊川	菊川	16	加茂橋	A	1.3	1.4	1.1	0.7		"	71	伊勢大橋	A	1.0	0.9	0.9	1.3	
	"	17	高田橋	A	1.8	2.0	1.7	1.6		"	伊自良川	72	横船橋	A	0.9	0.7	0.7	0.5
	"	18	国安橋	A	1.6	1.7	1.1	1.1		"	73	竹橋	C	1.5	1.9	1.4	0.8	
牛瀬川	牛瀬川	19	鹿島橋	B	1.9	2.5	1.6	1.4		木曾川 (揖斐川)	揖斐川	74	徳山ダム※	湖沼AⅡ	1.6	2.3	2.5	2.4
	"	20	堂山橋	B	2.8	3.1	2.5	2.2			"	75	横山ダム※	湖沼AⅢ	1.3	1.4	1.7	1.6
	"	21	新種橋	B	2.2	2.2	1.9	1.9	"		76	岡島橋	AA	0.7	0.8	0.7	0.6	
天竜川	"	22	中央橋	B	2.1	2.0	1.6	1.6	"		77	箕田橋	AA	0.5	0.8	0.7	0.7	
	"	23	吉瀬ダム	A	1.7	1.5	1.4	1.3	"		78	福岡大橋	A	1.1	0.7	0.8	0.8	
	"	24	宮ヶ瀬橋	A	1.7	1.6	1.1	1.3	"		79	伊勢大橋	A	1.0	0.8	1.0	0.9	
	"	25	天竜橋	A	1.7	1.5	1.2	1.1	"		根尾川	80	山口	AA	0.5	0.5	<0.5	<0.5
	"	26	つつし橋	A	1.7	1.4	1.4	1.3	"		牧田川	81	横曾根橋	A	0.6	0.9	0.5	0.5
	"	27	南宮橋	A	1.4	1.4	1.0	1.2	"		82	池辺	C	1.4	1.4	1.5	1.3	
	"	28	佐久間ダム※	湖沼AⅣ	2.5	2.1	2.3	2.1	"		栢瀬川	83	高瀬橋	A	1.2	1.5	1.3	1.2
	"	29	秋葉ダム	AA	0.8	1.0	0.6	0.8	"		水門川	84	二水橋	C	3.1	3.4	4.4	3.0
	"	30	鹿島橋	AA	0.8	0.7	0.5	0.7	"		多度川	85	上之郷	A	1.3	1.2	1.3	1.4
	"	31	掛塚橋	AA	0.9	0.9	0.7	0.7	鈴鹿川	鈴鹿川	86	勸進橋	AA	0.8	0.6	<0.5	<0.5	
"	32	美和ダム	A	1.2	1.4	0.9	0.8	"		87	鈴園橋	AA	0.7	0.6	<0.5	<0.5		
"	33	竜東橋	A	1.2	1.0	0.9	0.7	"		88	庄野橋	A	1.0	0.6	0.5	0.5		
"	34	小浜ダム	AA	0.8	1.1	0.6	1.3	"		89	高岡橋	A	1.0	1.4	0.6	0.5		
"	35	新豊根ダム	未指定	1.4	0.8	0.9	0.7	"		90	小倉橋	A	0.9	1.0	0.7	0.6		
豊川	豊川	36	石田	A	0.5	0.7	0.5	0.5		"	91	河原田橋	A	1.3	1.5	1.0	0.7	
	"	37	江島橋	A	0.5	0.9	0.5	0.5		"	安楽川	92	和泉橋	AA	0.9	0.9	0.5	<0.5
	"	38	当古橋	A	0.7	0.8	0.8	0.5		"	雲出川	93	大仰橋	A	1.2	1.2	0.7	0.6
	"	39	吉田大橋	A	0.7	0.9	0.9	0.8		"	94	雲出橋	A	1.2	1.5	1.0	0.7	
矢作川	豊川放水路	40	小坂井大橋	B	1.4	1.8	1.6	1.4		雲出川	中村川	95	小川橋	AA	0.9	0.8	0.5	<0.5
	"	41	矢作ダム	AA	1.3	1.1	1.1	1.7	"		96	蓮ダム	未指定	1.1	1.1	0.9	1.1	
	"	42	明治用水頭首工	A	1.2	1.1	1.0	0.9	"		97	両郡橋	A	1.0	0.6	<0.5	<0.5	
	"	43	岩津天神橋	A	1.0	1.0	0.9	1.0	"		98	柳田橋	A	1.0	0.5	0.5	<0.5	
	"	44	木戸	A	1.1	1.1	1.0	1.0	"		99	松阪東大橋	A	0.9	0.8	0.7	0.6	
	"	45	米津大橋	A	1.1	1.1	0.9	1.0	"		宮川	100	岩出	AA	0.7	<0.5	<0.5	<0.5
庄内川	"	46	中畑橋	A	1.1	1.1	0.9	1.2	宮川	"	101	度会橋	AA	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	
	"	47	多治見橋	B	1.1	0.8	0.7	1.0		"	勢田川	102	勢田大橋	C	3.8	1.9	2.8	3.2
	"	48	天ヶ橋	B	0.9	1.3	1.5	1.4										
	"	49	城嶺橋	A	1.0	1.0	1.2	1.1										
	"	50	大留橋	C	1.3	1.4	1.5	1.1										
	"	51	水分橋	C	2.2	2.4	3.7	3.2										
	"	52	枇杷島橋	C	3.8	3.8	3.4	3.2										
	"	53	庄内新川橋	C	3.6	1.3	1.9	1.9										
	"	54	天神橋	C	3.0	2.8	3.3	2.1										
	"	55	小里川ダム	B	1.7	1.3	1.3	1.8										

※17…佐久間ダム、横山ダム、徳山ダム、味噌川ダムは湖沼指定のためCOD値を記載

※18…貯水池は、河川類型指定及び未指定はBOD表層値、湖沼類型指定で複数層を測定している場合はCOD全層平均値を記載